

認知症“共生社会の広がり”と “備えの進化”の最新状況

事前登録制
参加費
無料



●開催日時 | 2026年1月18日(日)
13:00~17:00 (開場 12:30)

●参加方法 | 会場 JR ゲートタワーカンファレンス (名古屋駅隣接) [定員: 先着120名]
| Web オンラインウェビナー (Zoom) [定員: 3,000名] ●申込方法 | 裏面をご覧ください

13:00	開会挨拶	荒井 秀典 国立長寿医療研究センター 理事長 杉浦 昭子 杉浦記念財団 理事長
	来賓挨拶	江澤 和彦 日本医師会 常任理事 鴻江 圭子 全国老人福祉施設協議会 参与
13:30	講演 (オンライン)	「最新の認知症施策の動向」 野村 晋 厚生労働省老健局 認知症施策・地域介護推進課 認知症総合戦略企画官
14:00	パネルディスカッション ファシリテーター: 鳥羽 研二 東京都健康長寿医療センター 名誉理事長 パネリスト: 横山 麻衣 藤枝市地域包括ケア推進課 認知症地域支援推進員 久保 亜紀子 藤枝市 認知症ご本人 藤田 和子 日本認知症本人ワーキンググループ 相談役理事 和田 誠 認知症のひとと家族の会 代表理事 武地 一 藤田医科大学医学部認知症・高齢診療科 教授	「誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて」 「認知症の人とともに築く地域」 「認知症になってからも希望を持った未来をもちたい」
15:20	シンポジウム 座長: 浦上 克哉 日本認知症予防学会 理事 田中 稔久 日本認知症学会 理事 シンポジスト: 武田 章敬 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 藤原 佳典 東京都健康長寿医療センター 研究所 副所長 (社会科学系) 島田 裕之 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター長 内門 大丈 医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南 理事長/院長	「認知症の備えの最新動向と今後の可能性」 「認知症薬物療法の最前線」 「認知症予防から共生へ: シームレスな社会参加型アプローチ」 「健康増進へ向けた活動的なライフスタイル形成のためのデジタル技術の活用」 「認知症の備えを地域で育む — HIRATSUKAモデルの実践」
16:50	閉会挨拶	田中 稔久 日本認知症学会 理事

主催: 国立長寿医療研究センター、認知症医療介護推進会議

共催: 公益財団法人 杉浦記念財団

後援: 愛知県、厚生労働省、国立精神・神経医療研究センター、全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、全日本病院協会、東京都健康長寿医療センター、名古屋市医師会、名古屋市社会福祉協議会、日本医師会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本神経学会、日本精神科病院協会、日本認知症学会、日本認知症グループホーム協会、日本認知症ケア学会、日本認知症本人ワーキンググループ、日本認知症予防学会、日本慢性期医療協会、日本薬剤師会、日本老年医学会、日本老年看護学会、日本老年精神医学会、認知症介護研究・研修センター、認知症のひとと家族の会 (予定、法人名以下五十音順)

第13回認知症医療介護推進フォーラム 参加者数の集計

1. 申込と参加の状況

単位：人

参加方法	申込者数			参加者数	WEB参加者の接続時間 *3			
	締切前*1	締切後	合計		5分～	60分～	120分～	180分～
WEB	1,194 (495)	23	1,217	935 参加率77%	52	56	69	758
会場	95 (34)	3	98	96 *4 参加率98%	—	—	—	—
合計	1,289 *2 (529)	26	1,315	1031 参加率78%	—	—	—	—

*1：（ ）は第12回フォーラムにも同一アドレスで申し込んだ人数で内数
→リピート率は $529 \div 1,289 = 41\%$

*2：日本認知症ケア学会の単位認定「要」は323人（ $323 \div 1,289 = 25\%$ ）

*3：5分未満の視聴者23人を除く

*4：8名は事前申込なく、会場で受付け

(参考) 前回との比較

単位：人

		WEB	会場	合計
申込	前回	1,462	103	1,565
	今回	1,217	98	1,315
	増減	▲245 (▲16.8%)	▲5 (▲4.9%)	▲250 (▲16.0%)
参加	前回	1,136	80	1,216
	今回	935	96	1,031
	増減	▲201 (▲17.7%)	+16 (+20.0%)	▲185 (▲15.2%)
参加率	前回	77.7%	77.7%	77.7%
	今回	76.8%	98.0%	78.4%
	増減	▲0.9%	+20.3%	+0.7%

[コメント]

- ・会場参加が増加中（第10回：29人→第11回：55人→前回：80人→今回：96人）
- ・通常はWEB・会場とも8割前後の参加率であるが、会場の参加率が98%に達した。
- ・WEB参加者は引き続き9割以上であり、有効な参加手段である。
また、アンケートの結果にもWEB参加方式を評価する声が寄せられていた。
- ・日本認知症ケア学会の単位認定要者が全申込者の1/4を占めており、
本フォーラム参加の動機に繋がっていることが想定される。

2.申込者の分析（都道府県別・知ったきっかけ別）

【資料4-1】

都道府県	都道府県別集計(単位:人)			フォーラムを知ったきっかけ														
	注: 昨年は詳細データのある1,547人との比較			A 勤務先・所属団体からの連絡	B 都道府県・市町村からの連絡	C 広報誌	雑誌 [内数]	新聞 [内数]	D 国立長寿医療研究センターのHP	E その他のHP	F その他	メール (送付元不明) [内数]	NCGGからのメール [内数]	杉浦記念財団からのメール [内数]	友人・知人の紹介 [内数]	SNS [内数]	チラシ [内数]	他 [内数]
	会場(昨年比)	WEB(昨年比)	合計(昨年比)															
北海道	1 (+1)	96 (▲46)	97 (▲45)	67%	12%	-	-	-	5%	4%	11%	(1%)	(6%)	-	(2%)	(1%)	-	(1%)
青森県	- (±0)	21 (+7)	21 (+7)	62%	19%	-	-	-	-	5%	14%	(10%)	(5%)	-	-	-	-	-
岩手県	- (±0)	4 (▲4)	4 (▲4)	25%	25%	-	-	-	-	-	50%	(25%)	(25%)	-	-	-	-	-
宮城県	- (±0)	6 (▲2)	6 (▲2)	17%	-	-	-	-	83%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	- (±0)	10 (+5)	10 (+5)	40%	40%	-	-	-	10%	-	10%	(10%)	-	-	-	-	-	-
山形県	- (±0)	11 (▲8)	11 (▲8)	27%	27%	-	-	-	18%	18%	9%	-	(9%)	-	-	-	-	-
福島県	- (±0)	34 (+4)	34 (+4)	38%	18%	9%	-	-	12%	6%	18%	(9%)	(3%)	-	-	(6%)	-	-
茨城県	- (±0)	20 (▲4)	20 (▲4)	30%	10%	5%	-	-	5%	15%	35%	(20%)	(15%)	-	-	-	-	-
栃木県	- (±0)	9 (±0)	9 (±0)	22%	33%	-	-	-	-	11%	33%	(33%)	-	-	-	-	-	-
群馬県	- (▲1)	22 (+6)	22 (+5)	27%	41%	-	-	-	5%	18%	9%	(5%)	-	-	-	-	-	(5%)
埼玉県	1 (+1)	40 (+19)	41 (+20)	29%	39%	-	-	-	10%	12%	10%	(2%)	(2%)	-	-	(2%)	(2%)	-
千葉県	1 (+1)	32 (▲14)	33 (▲13)	45%	-	-	-	-	21%	9%	24%	(12%)	(9%)	-	-	(3%)	-	-
東京都	8 (▲3)	107 (▲43)	115 (▲46)	40%	4%	3%	(2%)	-	17%	11%	23%	(3%)	(13%)	(2%)	(3%)	(2%)	-	-
神奈川県	2 (+2)	35 (▲3)	37 (▲1)	24%	-	5%	(3%)	-	35%	24%	11%	(8%)	-	-	(3%)	-	-	-
新潟県	- (±0)	20 (+12)	20 (+12)	40%	45%	-	-	-	-	-	15%	-	(5%)	-	-	(10%)	-	-
富山県	- (±0)	8 (▲7)	8 (▲7)	13%	-	-	-	-	50%	38%	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	- (±0)	10 (▲7)	10 (▲7)	20%	20%	10%	-	-	30%	10%	10%	-	-	-	-	-	-	(10%)
福井県	- (±0)	8 (▲6)	8 (▲6)	13%	75%	-	-	-	-	-	13%	-	(13%)	-	-	-	-	-
山梨県	- (±0)	4 (▲2)	4 (▲2)	50%	25%	-	-	-	-	25%	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	3 (+2)	28 (▲20)	31 (▲18)	32%	23%	6%	-	-	10%	-	29%	(13%)	(10%)	-	(3%)	(3%)	-	-
岐阜県	11 (+4)	30 (▲5)	41 (▲1)	24%	22%	5%	-	(2%)	7%	12%	29%	(17%)	(2%)	-	(2%)	(7%)	-	-
静岡県	2 (+1)	30 (▲7)	32 (▲6)	38%	22%	-	-	-	13%	6%	22%	(13%)	(3%)	-	-	(6%)	-	-
愛知県	50 (▲14)	123 (▲48)	173 (▲62)	39%	10%	8%	-	(5%)	18%	9%	16%	(5%)	(5%)	-	(3%)	(1%)	-	(2%)
三重県	6 (+1)	26 (▲4)	32 (▲3)	41%	22%	3%	-	-	9%	3%	22%	(6%)	(3%)	-	(6%)	(3%)	-	(3%)
滋賀県	- (±0)	1 (▲4)	1 (▲4)	-	-	100%	(100%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	- (±0)	30 (▲7)	30 (▲7)	63%	3%	-	-	-	7%	13%	13%	(3%)	(7%)	-	-	-	-	(3%)
大阪府	4 (+2)	54 (▲43)	58 (▲41)	29%	5%	2%	-	-	29%	12%	22%	(5%)	(12%)	-	-	(3%)	-	(2%)
兵庫県	1 (±0)	40 (▲10)	41 (▲10)	37%	22%	-	-	-	20%	7%	15%	(10%)	-	-	(2%)	(2%)	-	-
奈良県	- (±0)	7 (▲13)	7 (▲13)	14%	57%	-	-	-	14%	14%	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	- (±0)	12 (+6)	12 (+6)	42%	17%	8%	-	-	8%	25%	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1 (+1)	27 (▲11)	28 (▲10)	43%	36%	-	-	-	11%	-	11%	(11%)	-	-	-	-	-	-
島根県	- (▲1)	11 (+1)	11 (±0)	36%	27%	9%	-	-	18%	9%	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	- (▲1)	30 (▲8)	30 (▲9)	33%	20%	-	-	-	10%	13%	23%	(13%)	(7%)	-	(3%)	-	-	-
広島県	- (±0)	18 (▲6)	18 (▲6)	44%	11%	-	-	-	11%	17%	17%	(6%)	(11%)	-	-	-	-	-
山口県	2 (+2)	18 (+6)	20 (+8)	30%	40%	-	-	-	5%	15%	10%	(5%)	-	-	-	(5%)	-	-
徳島県	- (±0)	6 (▲2)	6 (▲2)	33%	-	-	-	-	33%	33%	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	- (±0)	14 (▲3)	14 (▲3)	71%	7%	-	-	-	7%	14%	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	- (±0)	19 (+8)	19 (+8)	37%	26%	5%	-	-	11%	11%	11%	(5%)	-	-	-	(5%)	-	-
高知県	- (±0)	8 (▲1)	8 (▲1)	50%	-	-	-	-	25%	13%	13%	-	-	-	-	(13%)	-	-
福岡県	- (▲1)	44 (+18)	44 (+17)	50%	11%	2%	-	-	18%	5%	14%	(7%)	(5%)	-	-	-	-	(2%)
佐賀県	- (±0)	5 (▲6)	5 (▲6)	-	20%	-	-	-	-	-	80%	(60%)	(20%)	-	-	-	-	-
長崎県	1 (+1)	16 (+1)	17 (+2)	29%	24%	12%	-	-	18%	6%	12%	-	(6%)	-	-	(6%)	-	-
熊本県	- (±0)	19 (▲5)	19 (▲5)	47%	5%	-	-	-	16%	21%	11%	(5%)	-	-	-	-	-	(5%)
大分県	- (▲1)	19 (▲2)	19 (▲3)	47%	-	5%	-	-	21%	5%	21%	(5%)	(16%)	-	-	-	-	-
宮崎県	- (±0)	24 (+15)	24 (+15)	29%	50%	-	-	-	-	13%	8%	-	(4%)	-	(4%)	-	-	-
鹿児島県	- (±0)	15 (▲9)	15 (▲9)	20%	27%	-	-	-	20%	-	33%	(13%)	(7%)	-	(7%)	(7%)	-	-
沖縄県	1 (+1)	23 (▲4)	24 (▲3)	54%	8%	4%	-	-	17%	4%	13%	(13%)	-	-	-	-	-	-
合計	95 (▲2)	1,194 (▲256)	1,289 (▲258)	40%	17%	3%	(0%)	(1%)	14%	10%	17%	(7%)	(6%)	(0%)	(2%)	(2%)	(0%)	(1%)

〔コメント〕

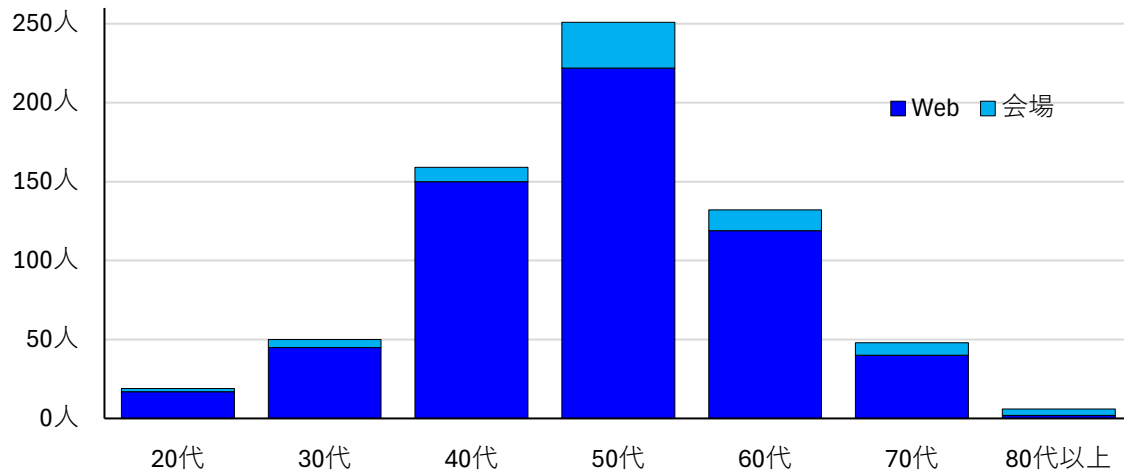
- ・昨年に引き続き、全都道府県から申し込みがあった。（最小1人～最大173人）
- ・申し込み数が多い北海道・東京・愛知・大阪で昨年比3～4割の減少(合計194人)があり、全体の申込者数減少に影響した。
- ・勤務先・所属団体からの情報でこのフォーラムを知った方は昨年の624人から511人に減りはしたものの、全体比は昨年の40%と同等で最多。推進会議委員の方々のご尽力によるものと拝察する。
- ・都道府県・市町村からの連絡でこのフォーラムを知った方は214人・17%と昨年（219人・14%）とほぼ同数で推移。
注：都道府県・市町村が勤務先の場合に「A」を選択した可能性が否定できない。
- ・国立長寿医療研究センターのHPを見て知った方が減少（昨年217人・14%→今年186人・14%）。
構成比は同等なため、センターの総ビュー数の減少が影響しているものと判断する。
- ・前回申込者へのメール（71人・6%）や友人・知人からの紹介（20人・2%）も多く、高評価をいただくことで次回の参加につながっている。

アンケート改修総数

単位：人

参加方法	参加	回答	回答率
Web	935	595	64%
会場	96	70	73%
合計	1031	665	65%

Ⅰ.年代



単位：人

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
Web	17	45	150	222	119	40	2	595
会場	2	5	9	29	13	8	4	70
合計	19	50	159	251	132	48	6	665

Ⅱ.所属先

単位：人

	回答数(構成比)
医療機関	212 (32%)
介護保険サービス事業所	129 (19%)
地域包括支援センター	125 (19%)
行政	66 (10%)
民間企業	29 (4%)
教育機関	24 (4%)
社会福祉協議会	10 (2%)
その他	68 (10%)
未回答	2 (0%)
合計	665 (100%)

「その他」の内訳

法人・団体(15)、なし(12)、施設関連(7)、サポーター(5)、行政(4)、研究機関(3) 等

[コメント]

医療機関・介護保険サービス事業所・地域包括支援センターで全体の70%を占める

単位：人

	回答数(構成比)
看護師	134 (20%)
(主任)介護支援専門員	98 (15%)
保健師	66 (10%)
社会福祉士	55 (8%)
介護福祉士	52 (8%)
理学・作業療法士	49 (7%)
認知症地域支援推進員	44 (7%)
薬剤師	32 (5%)
医師・歯科医師	23 (3%)
精神保健福祉士	19 (3%)
公認心理師・臨床心理士	16 (2%)
行政職員	15 (2%)
認知症のご本人・ご家族	15 (2%)
その他医療介護職	6 (1%)
その他	37 (6%)
未回答	4 (1%)
合計	665 (100%)

Ⅳ.日頃認知症の人のケア/支援に携わっていますか

単位：人

	回答数(構成比)
はい	602 (91%)
いいえ	61 (9%)
未回答	2 (0%)
合計	665 (100%)

[コメント]

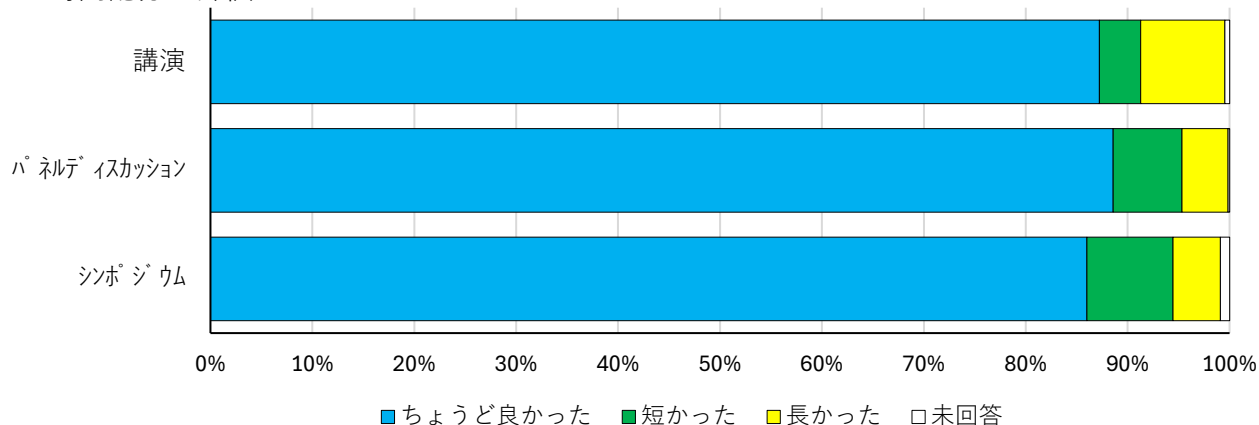
所属先・職業にも現れているように、日頃認知症のケアに携わっている方の参加が多い。

Ⅴ.開催時期（1月中下旬）の希望

単位：人

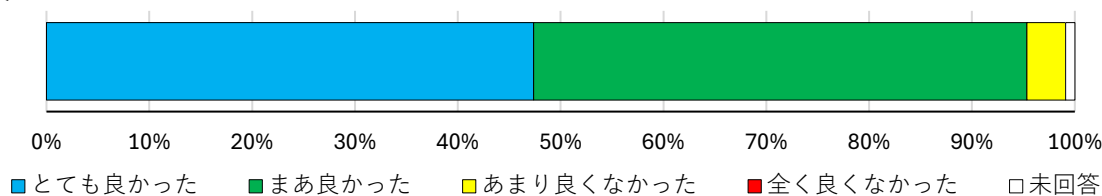
	回答数(構成比)
もう少し早い時期が良い	66 (10%)
このままで良い	575 (86%)
もう少し遅い時期が良い	21 (3%)
未回答	3 (0%)
合計	665 (100%)

1. 時間配分の評価

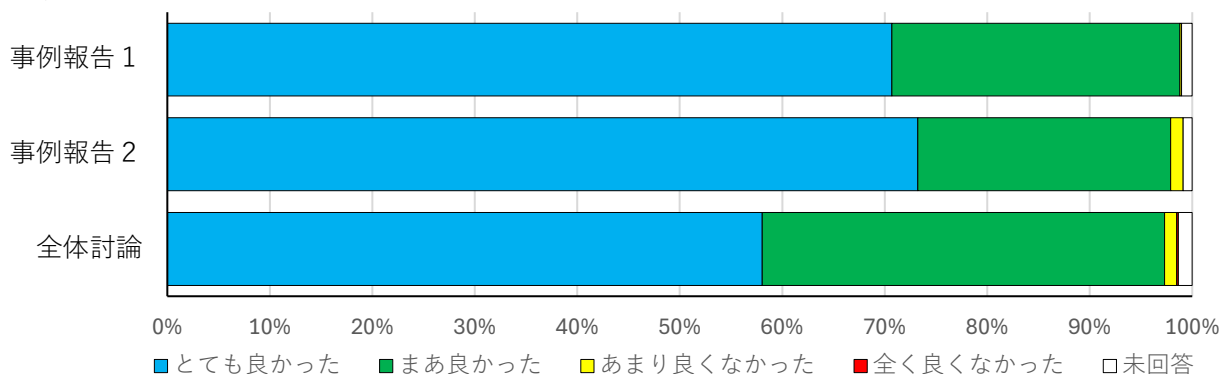


2. 内容の評価

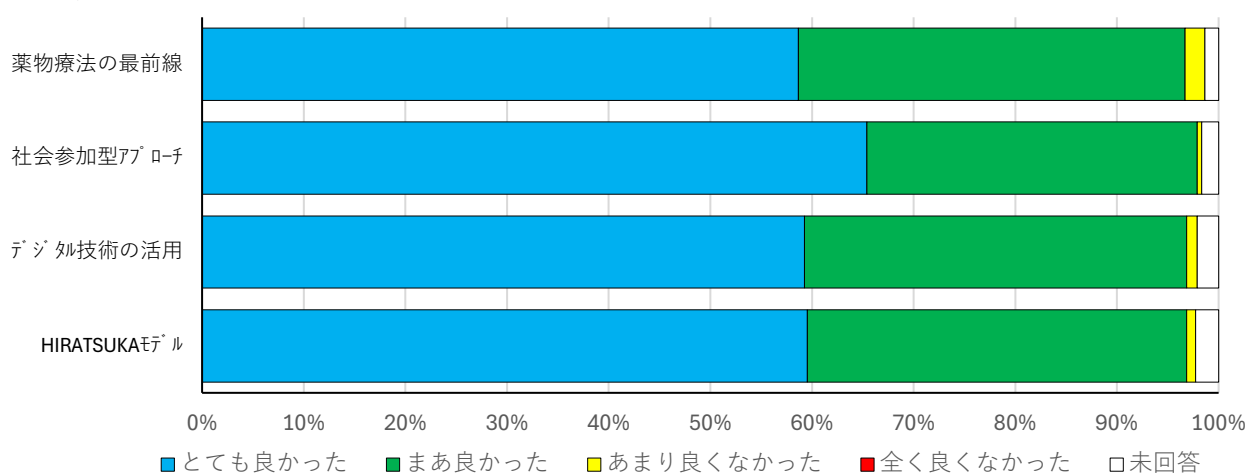
1) 講演



2) パネルディスカッション



3) シンポジウム



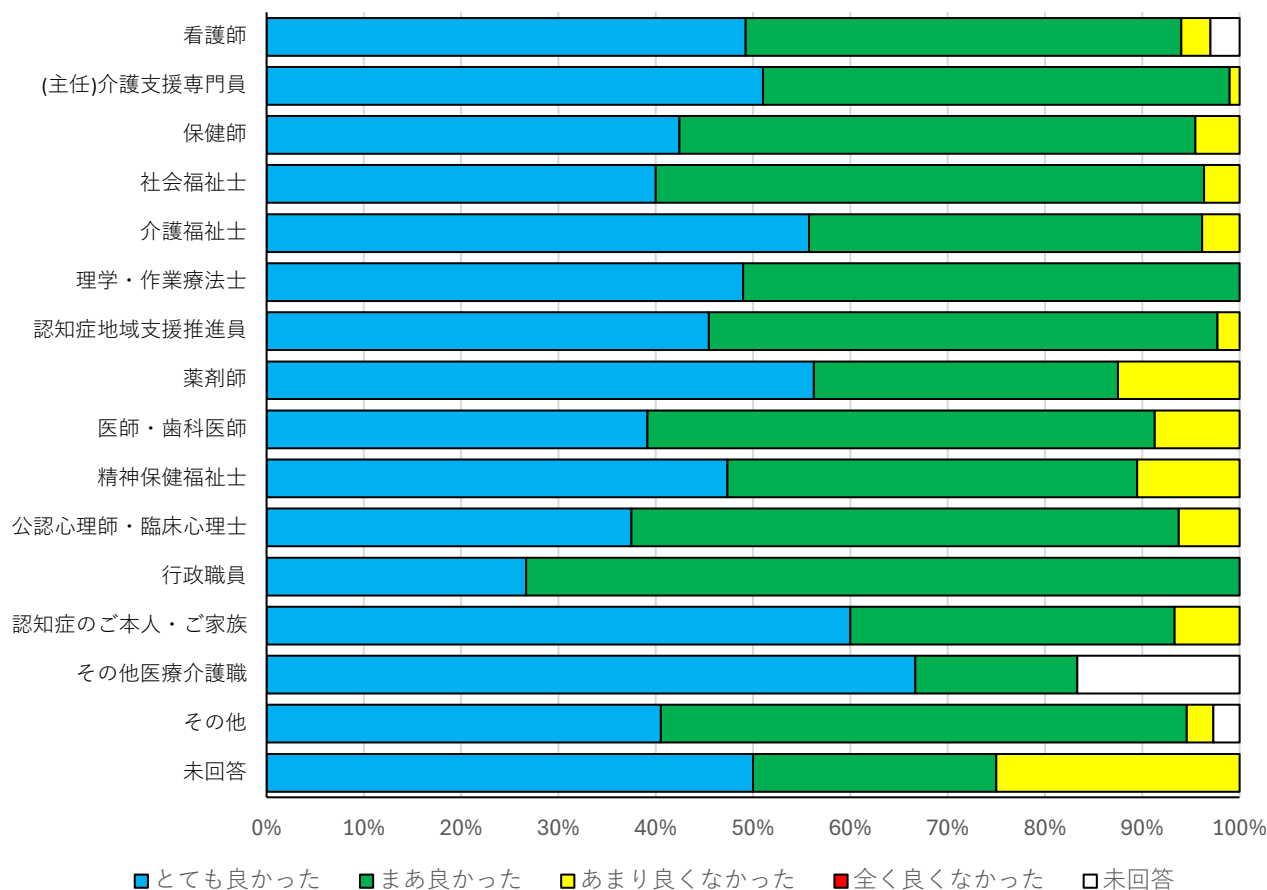
[コメント]

時間配分や内容に関して高い比率で良い評価をいただいた。

(参考) 参加者の資格・職業別の内容評価

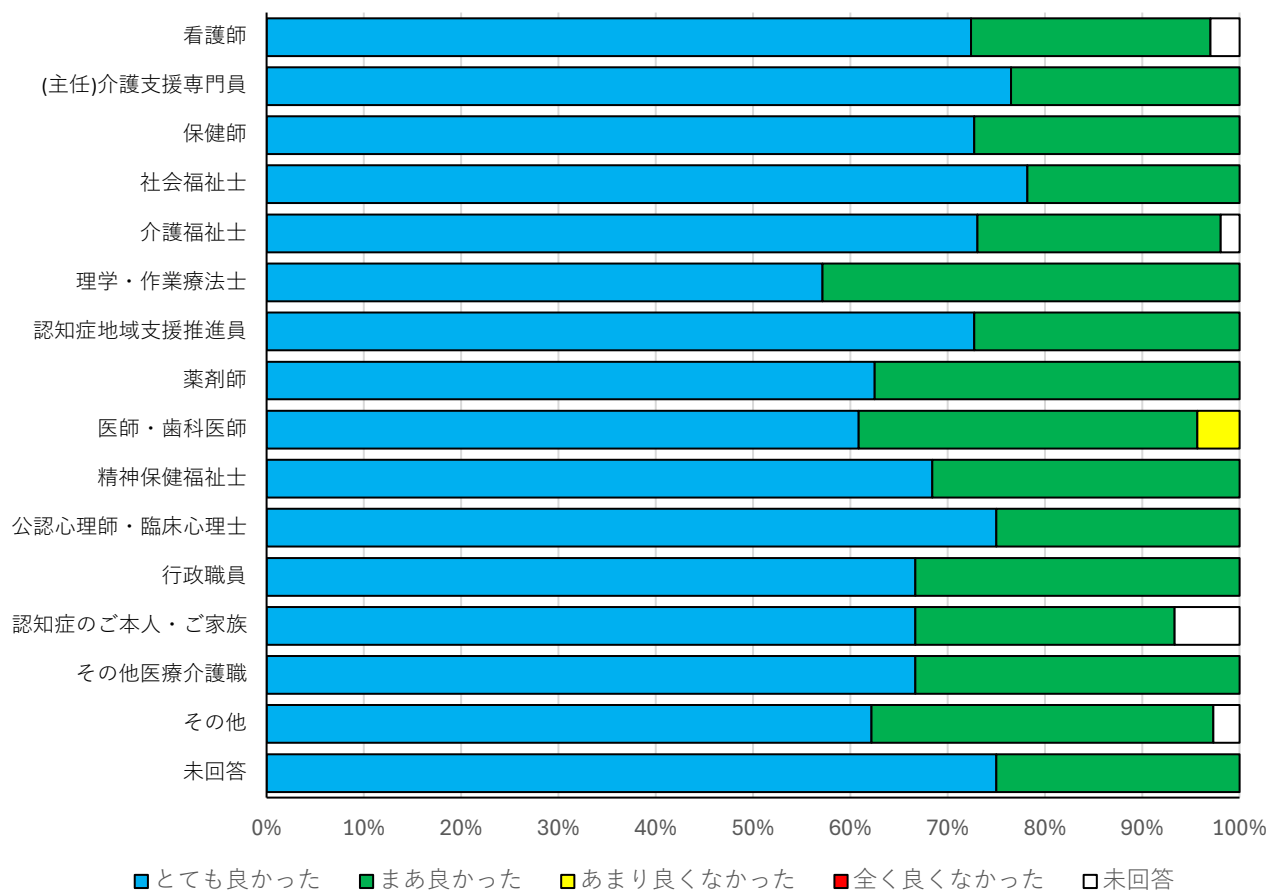
1) 講演

回答者数

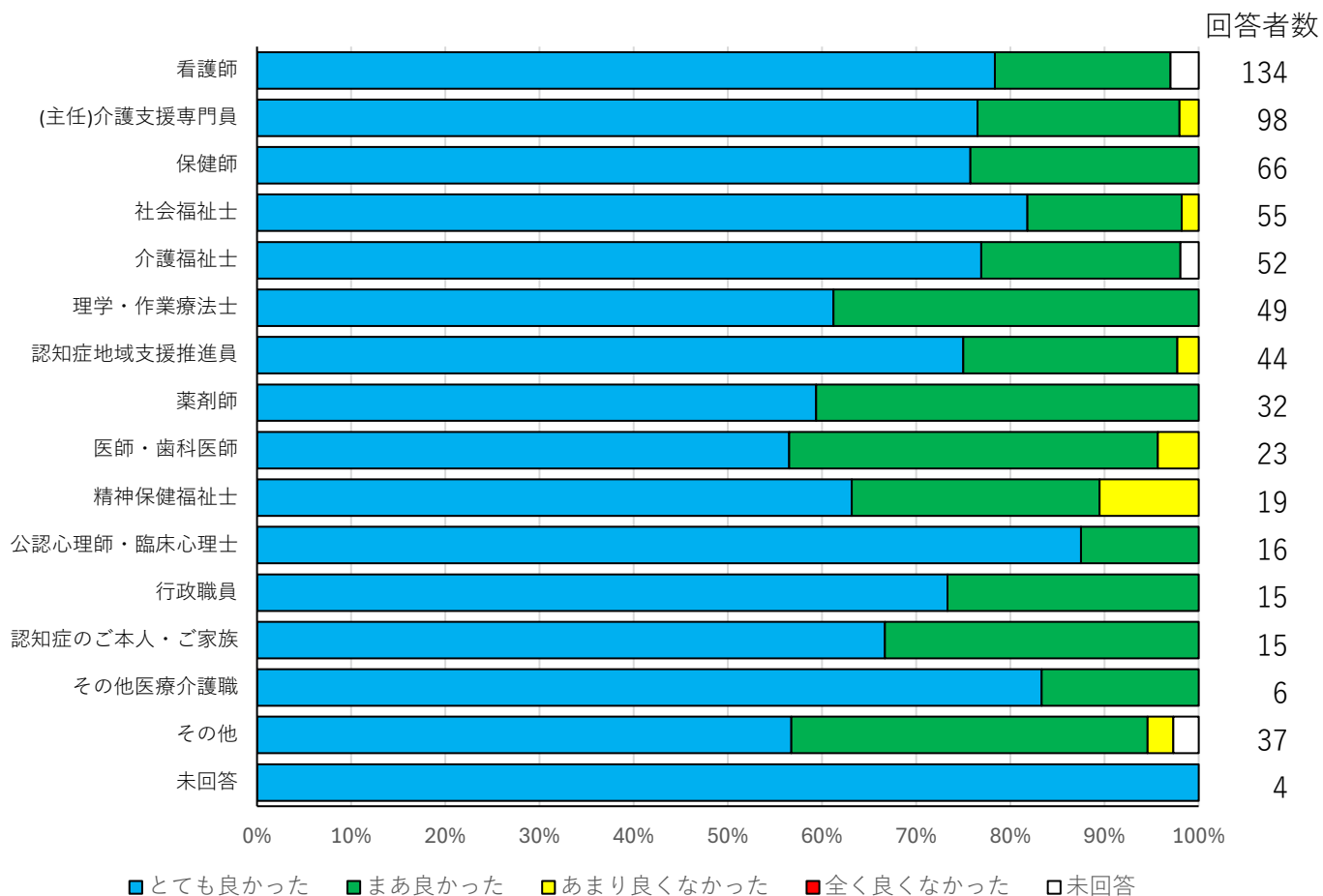


2)-①パネルディスカッション 事例報告1

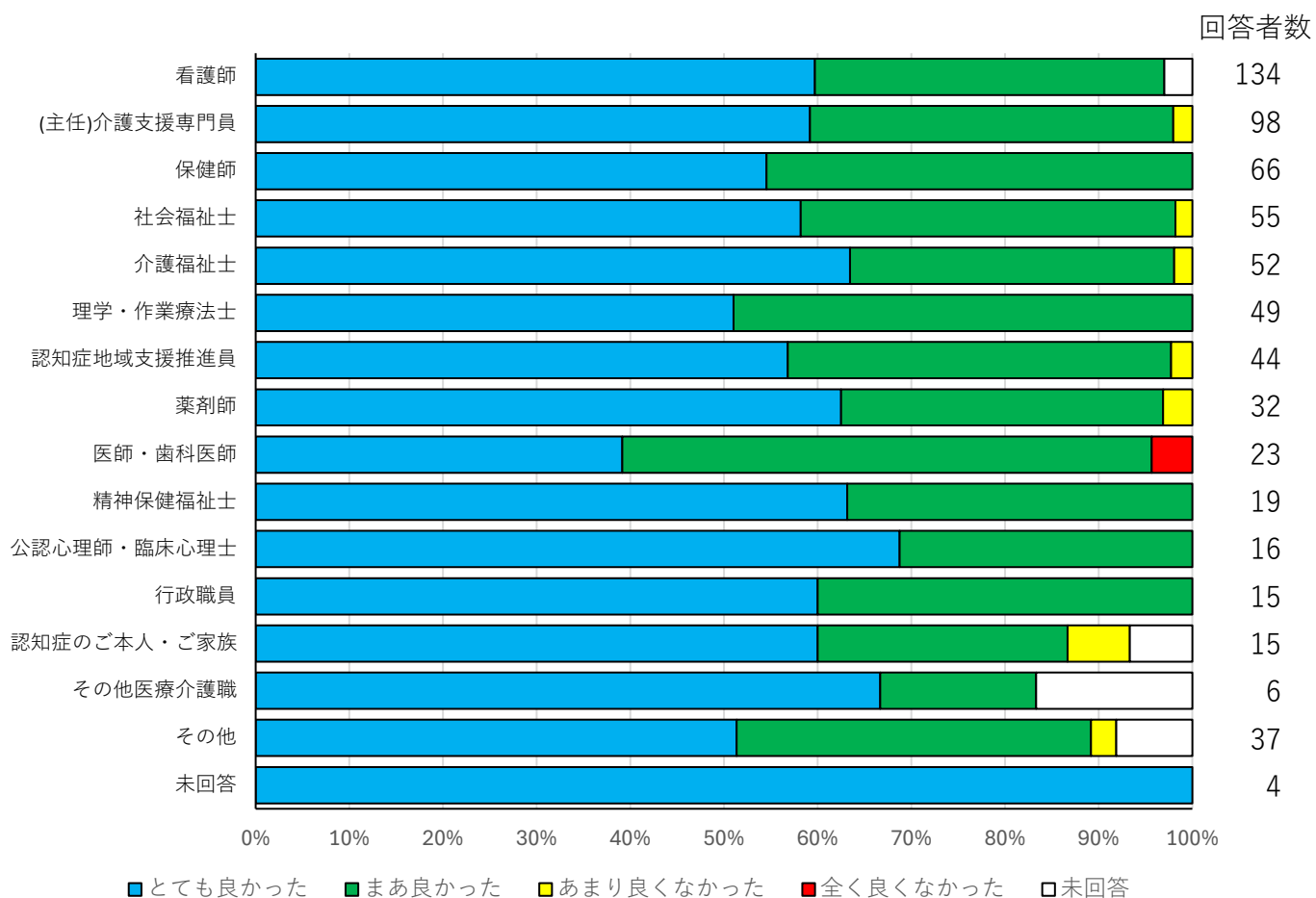
回答者数



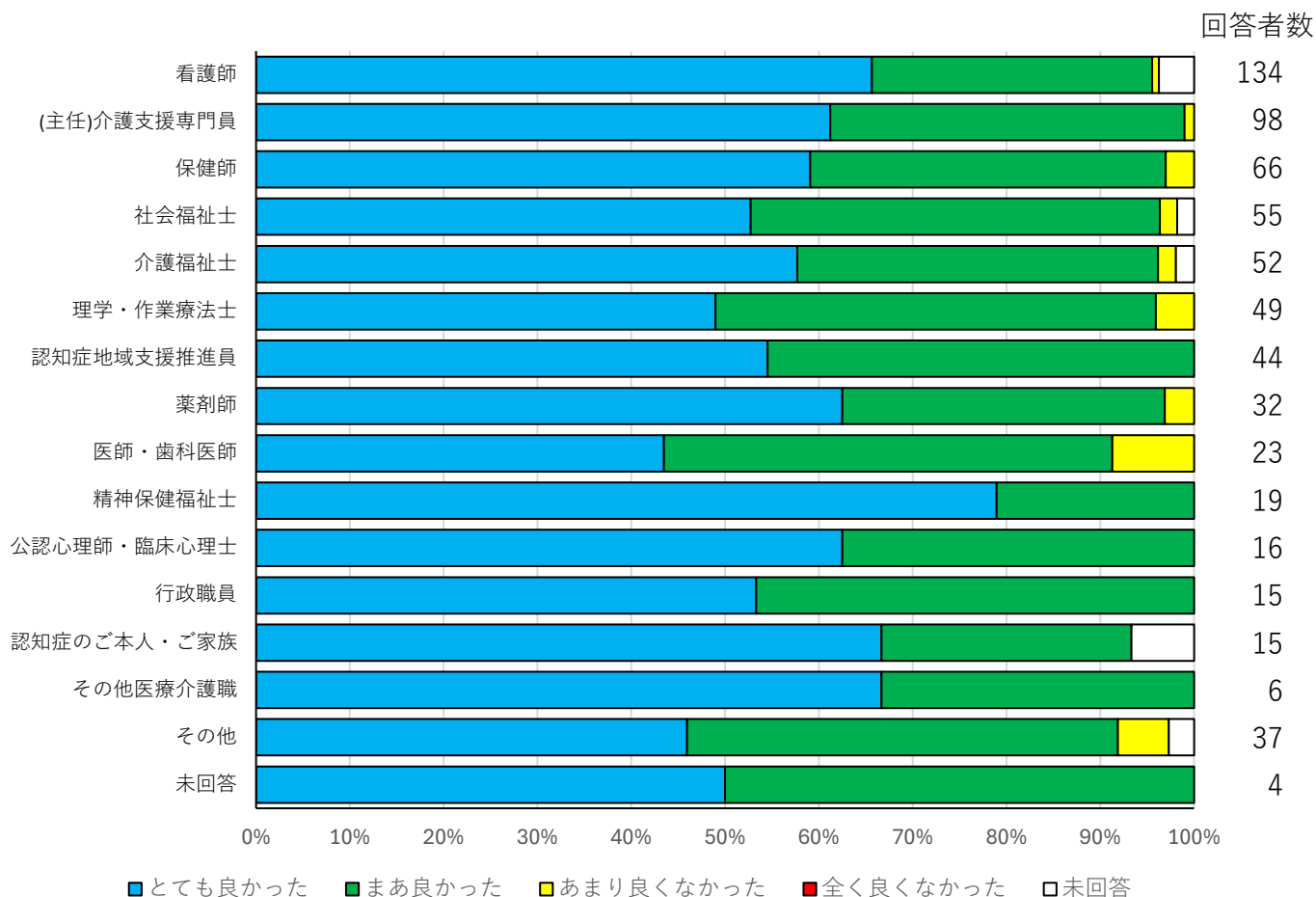
2)-②パネルディスカッション 事例報告2



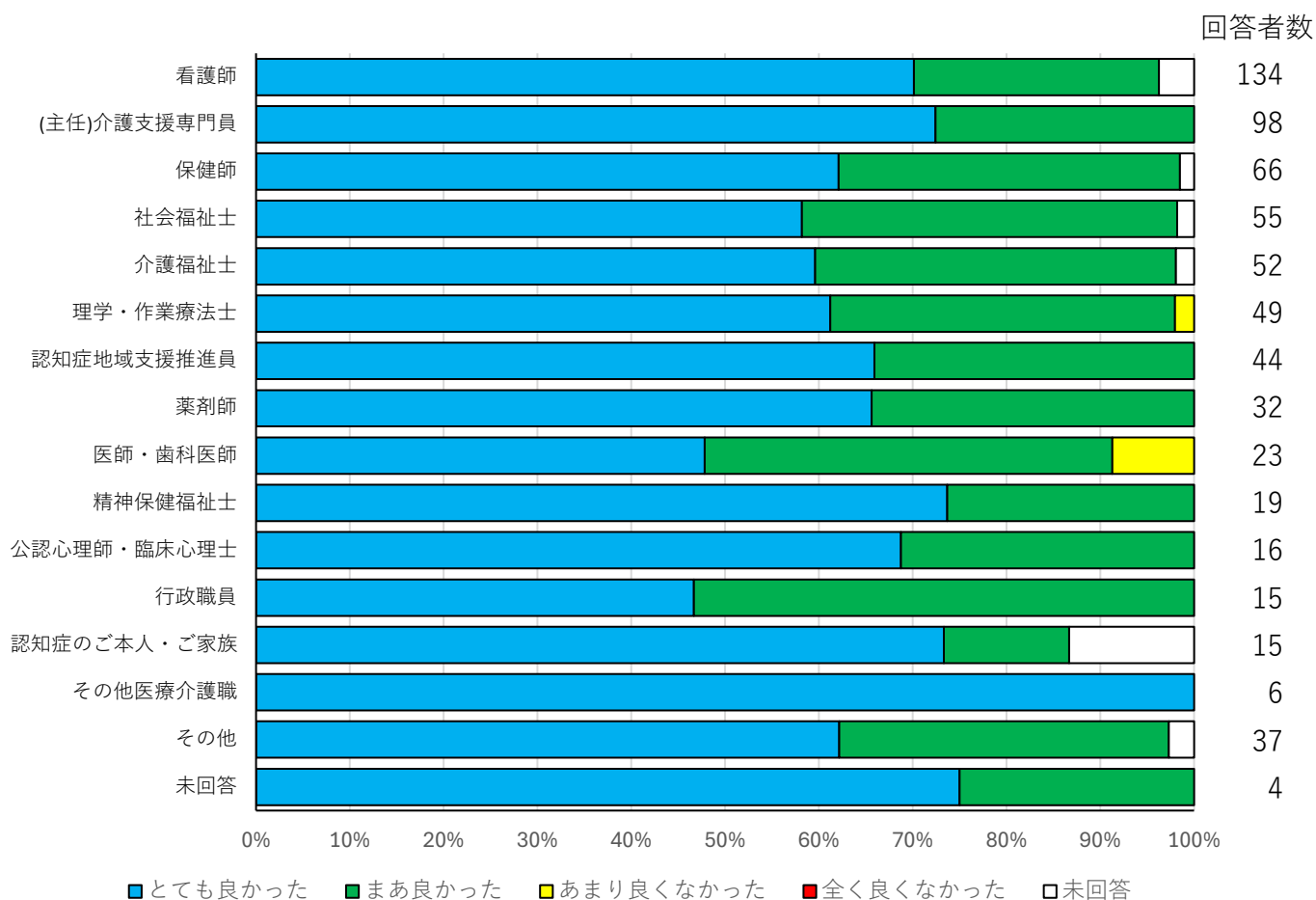
2)-③パネルディスカッション 全体討論



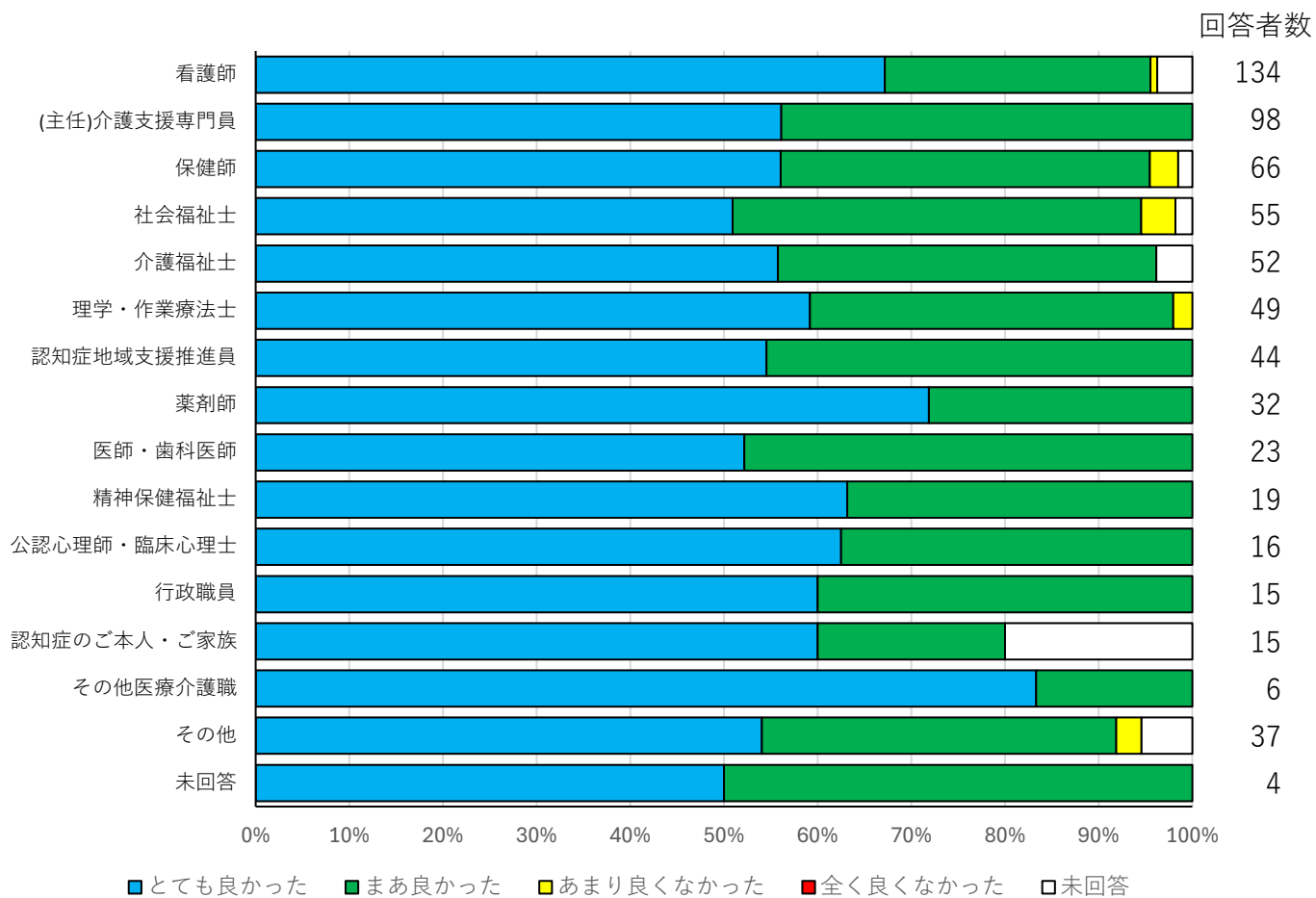
3)-①シンポジウム 薬物療法の最前線



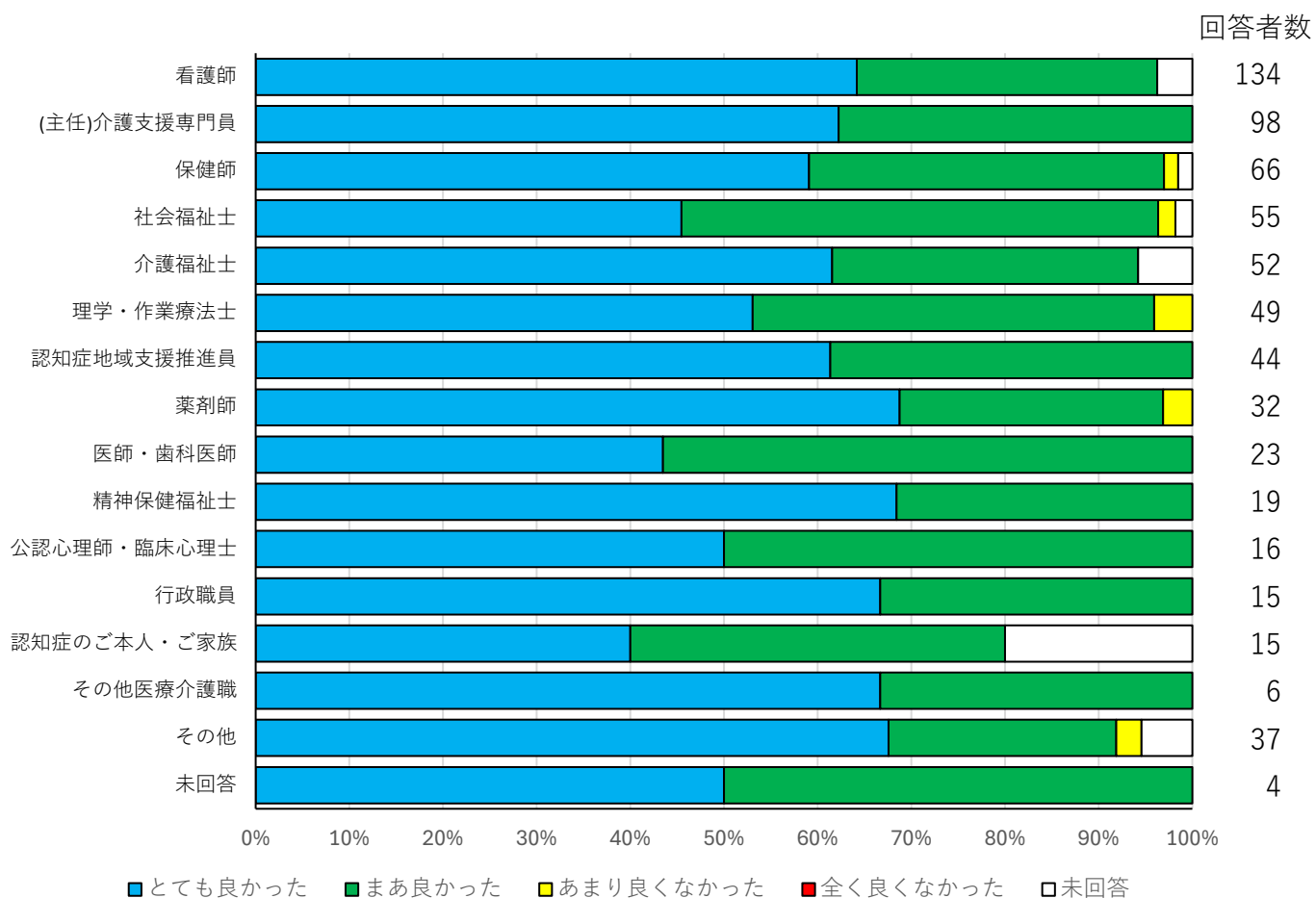
3)-②シンポジウム 社会参加型アプローチ



3)-③シンポジウム デジタル技術の活用



3)-④シンポジウム HIRATSUKAモデル



演目	意見	回答数
1.全体		5
2.挨拶		2
3.講演		26
4.パネルディスカッション		223
	1)全体	59
	2)事例報告（藤枝市）	38
	3)事例報告（当事者）	109
	4)全体討論	17
5.シンポジウム		193
	1)全体	17
	2)薬物療法の最前線	28
	3)シームレスな社会参加型アプローチ	70
	4)デジタル技術の活用	30
	5)HIRATSUKAモデルの実践	48

VIII.意見・感想（自由記述式の回答を集計）

演目	意見	回答数	参照
1.全体に関する意見・感想		176	P.13
	①様々な視点からの内容が良かった	43	〃
	②積極的な意見の表明	23	P.14
	③勉強になった	16	P.15
	④最新の情報を聞いた	15	〃
	⑤良かった	15	〃
	⑥役に立った	11	P.16
	⑦参考になった	10	〃
	⑧分かりやすかった	9	〃
	⑨ありがとう	8	P.17
	⑩その他の意見	4	〃
	⑪その他：様々な感想	22	〃
2.挨拶に関する感想		2	P.18
	①良かった	2	〃
3.講演に関する意見・感想		16	〃
	①よく分かった・有意義だった	4	〃
	②分かりにくかった	4	〃
	③その他の意見	8	〃

演目	意見	回答数	参照
4.パネルディスカッションに関する意見・感想		86	P.19
	1)全体	79	〃
	①当事者の意見を聞いて良かった	40	〃
	②藤枝市のお二人が良かった	13	P.20
	③当事者の意見が大事だと思った	9	〃
	④体制の整備に関する意見	6	P.21
	⑤早期診断が大切だ	3	〃
	⑥当事者が活動するに至ったきっかけを知りたい	2	〃
	⑦その他の意見	6	〃
	2)事例報告（藤枝市）	7	〃
	①良かった	7	〃
	3)事例報告（当事者）	54	〃
	①当事者の意見を聞いて良かった	32	〃
	②共感できた・良かった	22	P.22
	4)全体討論	11	P.23
	①良かった	8	〃
	②気づきになった	2	〃
	④少し気になった	1	〃
5.シンポジウムに関する意見・感想		101	P.24
	1)全体	29	〃
	①良かった	18	〃
	②地域・社会づくりに関する意見	4	〃
	③早期診断に関する意見	3	〃
	④勉強になった	2	〃
	⑤その他の感想	2	P.25
	2)薬物療法の最前線	17	〃
	①勉強になった	12	〃
	②薬価に関する感想	2	〃
	③その他の意見	3	〃
	3)シームレスな社会参加型アプローチ	22	〃
	①参考になった	10	〃
	②やってみたい	9	P.26
	③良かった	3	〃
	4)デジタル技術の活用	15	〃
	①良かった	9	〃
	②広めたい	4	〃
	③その他の意見	2	〃
	5)HIRATSUKAモデルの実践	18	P.27
	①良かった	13	〃
	②詳しく聞きたかった	2	〃
	③その他の意見	3	〃

演目	意見	回答数	参照
6.運営面		61	P.27
	1)資料に関して	25	〃
	①講演で冊子に掲載されていないスライドが使われた	19	〃
	②シンポジウムで配布した冊子は英語になっていた	4	P.28
	③その他	2	〃
	2)開催時期・曜日・時間に関して	14	〃
	①時間の長短	10	〃
	②時期・曜日	4	〃
	3)時間配分に関して	5	〃
	4)Zoom参加は良い	5	〃
	5)音声に関して	4	P.29
	6)出演者に関して	2	〃
	7)内容に関して	2	〃
	8)その他の意見	4	〃
7.その他の意見・要望		2	〃

IX.取り上げてほしいテーマ

項目	回答数	参照
1.各種の取組み	133	P.30
①当事者や家族への取組み	35	〃
②医療・介護現場の取組み	33	P.31
③地域の取組み	26	P.32
④個人の取組み	17	P.33
⑤行政の取組み	9	〃
⑥その他	13	〃
2.最新の情報	41	P.34
①研究に関すること	14	〃
②治療薬に関すること	9	〃
③各種の症状に関すること	6	〃
④法律に関すること	5	〃
⑤その他	7	P.35
3.当事者の声	17	〃
①認知症の当事者	16	〃
②看護師・ヘルパー	1	〃
4.その他	19	P.36
①問題に思っていること	15	〃
②運転	3	〃
③AI	1	〃

X.改善要望ほか

項目	回答数	参照
1.改善要望等	10	P.37
2.その他感想	7	〃

1.全体に関する意見・感想

①様々な視点からの内容が良かった

1	新しい認知症観、基本法、それに伴う施策や計画を行政で進める中で、医療、本人、家族、専門職、活動場所である地域、すべてをとらえた中身盛りだくさんな研修内容でした。今後、すすめる認知症施策に活用でき、担当者間とも共有したいと思いました。
2	今後の認知症施策、予防や治療など関心の高いテーマでした。本人の声を中心に、つながりが大切であると改めて感じました。さまざまな気づきやアイデアを形にしていくこと、取り組んでいくことが大切であると思います。
3	長時間で全てに集中して聴講するのは難しいかもしれないと思っていたが、どのトピックスもバラエティに飛んでおり、また情報のアップデートに非常に役立つものだったと思った。ありがとうございました。
4	医学から地域の実践や当事者の生の声などたいへん有意義なプログラムでした。前回も参加しましたが回を重ねるごとにレベルが高くなっていると感じました
5	どれも興味関心のあるテーマでした。認知症の現在を知る意味でも時間的にコンパクトな印象はありましたが、勉強になりました。どうもありがとうございました。
6	診断治療の場から地域での当事者の生活とそれを支える地域の活動まで幅広い内容で、近視眼的な理解にならずにバランスよく考えることができた。
7	私は医療従事者であると共に、認知症の家族をもっています。どの立場においても、今回のプログラムはとても興味深く、学びになりました。
8	本日のテーマは備えだったのですね。予防や予算、MCI、ぴあサポートなど、大変勉強になりました。色々な視点が学べてよかったです。
9	最新の研究から、実際の現場の様子までみられ、認知症施策の全貌がうかがえました。なかなかない貴重な会に参加させていただきました。
10	今回のプログラムはこれまでの振り返りから最新情報、地域社会の現状など様々な知識が得られ大変充実した物でした。
11	多岐にわたる話を聞くことができ大きな学びになりました。どのプログラムも興味深く聞くことができました。
12	地域での活動、当事者の目線、最新の認知症の動向、治療、予防など様々な方向から聞くことができました。
13	現在の認知症患者の方への対応から今後に向けての話まで多岐にわたるお話が聞けて良かったです。
14	認知症施策の最新動向や実際に認知症当事者の方の意見を聞く機会は非常に良かったと思います。
15	医師をはじめ、当事者の声など様々な視点から演題があり毎年充実した学びにつながっている。
16	共生できる場づくりの話と治療と予防の話の両方があり、現状を表していると深く感じました。
17	昨今の認知症に関するトピックスを様々な角度から聞かせていただいたので、よかったです。
18	医療、介護、予防等様々な角度からの認知症アプローチについて学ぶことができた。
19	専門的な内容もあり、当事者の方のお話もあって最後まで興味深く聴講出来ました。
20	初めて参加したが、いろいろな角度から認知症について見ることができ面白かった
21	色々な情報を取得ができ、さらに認知症本人様の話をきけて貴重なお時間でした！
22	認知症の施策や治療薬まで幅広く認知症について学ぶことができました。
23	本日のテーマに対して様々な講演内容を聞いて理解することができた。
24	多彩なプログラムで大変勉強になりました。ありがとうございました。
25	どの内容も参考になり、刺激を受けました。ありがとうございました。
26	色々な視点からの取り組みが大変わかりやすく勉強になりました。
27	各内容はとても良かったと思います。ありがとうございました。
28	知りたかったことが網羅されていて、大変参考になりました。
29	幅広く認知症や地域での取り組みが取り上げられ良かった。
30	内容が盛り沢山で有意義でした。ありがとうございました。
31	最新情報、地域での活動の実際がわかって参考になった。
32	どのプログラムも、印象に残りとても深い学びになった。
33	内容が盛りだくさんで、非常に参考になり為になった。

34	長時間ではあるが、分野ごとに興味が湧いて良かった。
35	行政の意見から本人のお話も聞けて勉強になりました
36	様々な視点からお話が聞けて勉強になりました。
37	盛りだくさんの内容で、大変勉強になりました。
38	様々な分野からの話が聞けてよかったです。
39	様々な事例、取り組みが聞けてよかった
40	内容が盛りだくさんで勉強になりました。
41	それぞれから学びのある構成でした。
42	色々情報を頂き良かったです。
43	バランスよくお話を聞いた

②積極的な意見の表明

1	認知症は他人事ではありません。さまざまな地域での取り組みを聞かせていただきました。自分の地域ではどのような取り組みがされているのか知りたいですし、何かお手伝いできないかとも思います。
2	専門性の高い内容であっという間に時間が過ぎました。今後もこうした内容を一般の専門職にも伝えていただきたいと思いました。一人でも多くの方に伝えて、必ず役立たせたいと思いました。
3	多職種連携はとても大切だと日頃より感じていますが、医療機関との連携が難しいです。地元の診療を担っておられる医師との連携構築を行政とともに努めていきたいと思いました。
4	専門性が高く、大変勉強になりました。きっと一人で悩んでいる人がいると思うと言われたご本人の発表の勇気に応え、一人でも多くの方の力になれるよう役立てたいと思いました。
5	日々かかりつけ薬剤師としてだんだん患者様が認知機能が衰えてこられるのを、手を拱いて見てるだけではない事を知り明日からの仕事に勇気をもらいました。さあ！かんばろ
6	色々な立場からのご意見や実例など、最後まで興味を持って拝見出来ました。仕事の立場を超え、自分が認知症になったらどうしてほしいかを考えつつ対応していきたいです。
7	とても勉強になりました。様々な視点から考える、よい機会になりました。浦上先生の言葉にあったように予防できる時代を心待ちにしながら共生社会づくりに頑張ります。
8	ご本人の話を聴くことが大前提であるとわかりながら、なかなかできないことでした。ご本人と出会う機会を設け、ともに考えて前進していきたいと思います。
9	地域やご本人の話から最新の薬剤の話まで幅広く聞くことができ今後仕事にも活かせるし、今日の内容を一緒に働くスタッフとも共有したいと思いました。
10	とても面白かったです。来月、地域の高齢者むけにフレイル予防教室、健康教室を開催予定です。本日の講演で学んだことを伝えていきたいと思います。
11	内容が濃く参考になりました。企画ありがとうございます。地元で、専門職同士の連携がもっと進むよう頑張っていきたいと思います。
12	最新の動向はとっても参考になりました。地域でのかかわりに参加できない人への介入を今後検討していきたいと思いました。
13	大変勉強になりました。社会参加のためにどのようなアプローチができるのか自身振り返りたいと思います。
14	毎年、参加させていただいていますがとても勉強になり、また明日からの仕事に活かそうと思いました
15	病院勤務ですが、あらためて地域でその人らしく生活できるよう支えていきたいと思いました
16	とても勉強になりました。地域で活動できそうなところから始めてみたいと感じています
17	認知症におけるお話を多くの方と共有し、共通言語として伝えていきたい。
18	当地域でもMCIに対する介入の中心的な役割を担っていきたいと思います。
19	共生に対し考えて行動を起こなって行きたい。予防に力を入れていきたい。
20	自身の役割や課題が明らかになり、やるべきことが分かりました。
21	全てをしっかり受け止めました。職務にしっかり活かします。
22	支援センターでの勉強会で今日の内容を伝えていきたいです。
23	知識をアップデートしていきたい。

③勉強になった

【資料4-1】

1	ピアサポートの取り組みについて大変勉強になりました。今後に役立てたいと思います。
2	初参加です。とても勉強になりました。次回もチャンスがあれば参加したい。
3	大変貴重なお話がきけて勉強になりました。ありがとうございました。
4	大変有意義な時間でした。勉強になりました。
5	貴重なお話を聞くことができて勉強になりました
6	とても勉強になりました。ありがとうございました。
7	大変勉強になりました。ありがとうございました。
8	勉強になりました。ありがとうございました。
9	大変勉強になりました。有難うございます。
10	認知症に関して学びになりました
11	非常に勉強になりました。
12	とても勉強になりました。
13	勉強になりました。
14	勉強になりました
15	勉強になりました
16	多く学びました

④最新の情報を聞いた

1	介護保険ができた頃は「当事者的にはどうなんだろう？」と疑問に思うことがたくさんありましたが、25年以上経ち、ようやくモヤモヤが少しずつ晴れてきた気がします。最新情報がたくさん知れて良かったです。
2	昨年、はじめて参加させていただき、国の施策や最新の医療情報等を聞く体験ができて本当に勉強になりました。来年も参加させていただきたいです。
3	認知症支援についての最新情報が得られるので大変助かっています。今後も継続して参加させていただきたいと思います。
4	幅広い内容でありながらも、ポイントを絞って現在の最もホットな話題をご説明いただけて充実していた。
5	今は認知症の方に直接関わっているわけではないので、新しいことも知ることができてとてもいい
6	認知症の治療や取り組みの最新情報や動向を知れて勉強になりました。ありがとうございました。
7	パネルディスカッションや講演、シンポジウムを通して認知症の現状を知ることができた。
8	認知症に関する最新動向を学ぶことができました。ありがとうございました。
9	最新の情報を多く取り入れてくださり、前向きな気持ちになれました。
10	最新の取り組みについても聞ける機会となり参考になりました。
11	最新の動向が取り入れられた興味深い内容でした。
12	最新の情報を含め、非常に勉強になりました。
13	最新の情報が分かり、とてもよかった。
14	最新情報を知ることができてよかった
15	最新知識習得できました

⑤良かった

1	初めて参加しました。現状や今後、個人でも地域でも取り組むべきことが見えたことがとてもよかった
2	長時間のプログラムでしたが、時間を感じさせずに、興味深く拝聴しました。ありがとうございました。
3	全体的に良かった。最近の動向では認知症基本法の流れがつよい。改めて内容の理解を深めたかった
4	どのプログラムも関心の高いものばかりでした。ありがとうございました。
5	自地域での活用もしやすい、身近な話題提供だったのでとても良かった。
6	あっという間に終わってしまった。とても興味深い内容だった
7	全体的にとっても良かったです。ありがとうございました。
8	いろいろな方向から考えることができてよかったです
9	どれも勉強になりました。ありがとうございました。
10	とても有意義な内容だったと思います。
11	興味を持って聞くことができました。

12	どの内容もよかったのです。
13	非常に素晴らしかった。
14	どれも良かった
15	良かった

⑥役に立った

1	テーマである『共生』と『備え』は、自分たちの活動そのものでもあり、方向性は間違っていないと確信でき、非常に有意義なフォーラムでした。既知のことも多かったですが、ポイントの再確認、新たなテーマの発見など、たくさんありました。特にピアサポートの重要性を再認識できたことは大きかった
2	大変貴重なお話を聞かせていただき感謝しております。中でも当事者のお話と町ぐるみでのサポートについて、藤原先生の三方良しの実際については、明日の現場においても還元、考える種になったと感じています。参加して本当に良かったです。
3	共生と予防の視点から、認知症に関しての事業や施策を学ぶことができてよかった。 認知症だけの問題としてとらえるだけでなく、高齢者施策、ましてや地域の課題として取り組んでいく必要があると改めて感じた。
4	本人の意見を聞くことの重要性と必要性は認識しているものの、地域で暮らす当事者の方の生の声に行くことは難しいと感じているため、このような機会は大変ありがたく感じています。
5	ボリュームがありましたがどれも大変参考になりました。今後の仕事、地域での活動に役立てたい。
6	他市での認知症に対するアプローチを知ることができ、自分の市での参考にしたいと思った。
7	今老健で働いているので、認知症の知識が増えて良かったと思います。有り難うございました。
8	認知症の人を地域で支えていくヒントをもらいました。
9	参加することで今の仕事に役立つ情報知識を得ました
10	取り組みに活かせる内容でヒントになりました
11	とても実用的で興味深いお話でした

⑦参考になった

1	認知症看護認定看護師として、急性期病院に勤務しています。認知症薬物療法の最前線から最新の情報を得ることができました。今後の活動に参考とさせていただきます。
2	毎年参加させていただいてます。最新の情報から認知症の人の生の声を聴くことができてとても参考になりました。
3	沢山ありました。新しい情報知識や体験者の話が聞けて視野を広げました
4	参考になりました！ ネット環境が悪く途中、切れることが残念です…
5	共生社会にむけて、出来る事を考えています。色々参考になりました。
6	認知症当事者の活動や支援の実際が聞けて参考になった。
7	とても参考になりました。ありがとうございました。
8	とても濃い内容で参考になりました。
9	とても良い。参考になりました
10	とても参考になりました。

⑧分かりやすかった

1	認知症の取りがわかりやすく教えていただきました、ありがとうございます。
2	認知症治療については、医師以外でも分かりやすい内容でした
3	時間配分もよく、とても分かりやすく良かったです
4	わかりやすいお話しありがとうございました。
5	わかりやすく講演されたので良かった。
6	全体にわかりやすく良かったです。
7	分かりやすくよかったと思います。
8	とても分かりやすい説明でした。
9	わかり易かったです。

1	医療と介護、地域の連携について、色々な取り組みを教えて頂き、自治体での今後の取り組みについてヒントを頂ける事ができました。ありがとうございました。
2	参加させていただき、ありがとうございました。認知症ケア専門士の単位の方、お手数をおかけしますが、よろしくお願い致します。
3	どれもとても先進的な取り組みで、ワクワクしました！ありがとうございました。
4	それぞれの地域においての活動など大変貴重なお話をありがとうございました。
5	貴重な講義をお聞かせいただきありがとうございました。
6	新しく学ぶことが出来ました。ありがとうございます。
7	お疲れさまでした。ありがとうございました。
8	素晴らしい話をありがとうございます

⑩その他の意見

1	共生社会の重要性を再認識することはできたが、日々の業務の中でどのように関わっていたらよいか考えさせられた
2	率直に、認知症に関する考え方・捉え方が随分と変化したなという印象を持ちました。
3	前半後半と内容にメリハリがあってそれぞれ勉強になった。
4	とても勉強になるので継続していただきたいと思います

⑪その他：様々な感想

1	ここ数年このフォーラムに参加させていただいています。認知症の本人が登壇し自らの言葉で話したりする事はとても素晴らしいと思います。本人の登壇が難しい場合は、動画を流すなどの対策もあればよいと思います。まだまだ田舎は認知症の方が活躍する場が少ないため、中心部から活動を広げてほしいと思います。
2	現在は、本人の声を聞きましょうということが盛んに言われております。今までは家族の声だけしか聴いていなかったことの反省によるものと思います。その意義は大切です。その反面家族の意見が後回しになって居る感もあるように思います。どちらも大切だと思います。
3	認知症の方が社会参加し活躍できる場、本人や家族のピアも必要なことも理解できる。行政主導で行うより持続可能な活動になるためには誰がどのようにどうやって・・・というところが難しいと感じていま
4	当事者の方の意見を「認知症の人」というフィルターをかけずに、1人のひととして偏見なく聞き入れて接してくれる地域となれるよう今後も当事者の方を中心とした活動をサポート出来ればと感じました。
5	共生という意味のとらえ方は立場によって様々であることと、地域によって資源もそこに住む人々の生き方も異なるため、地域に合ったものをそこに住まう人達で考えていくことの重要性を感じました。
6	認知症の方が少しずつ社会に出ている実情 共生型社会づくり 時代の流れを感じました。今日までのご準備いただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。
7	認知症になり始めた人との共生としての理解はとても深まり、必然のことと感じました。進んでしまった人への関わり方も具体的に学ぶことができると良かったです。
8	地域によって差があると感じていた。地域に貢献したいと思う人は案外多いのではないかと感じた。ご本人の工夫や地域で支える人たちのことがわかり参考になった。
9	いつもありがとうございます。日々いつの段階で病院受診を勧めようか悩んでいます。プライドもあられるし、家族にも声かけが難しいですね。
10	これから高齢者はスマホ、アプリといったものが使いこなせる、もしくは少し指導受けたら使えるようになることが求められるのでしょうか。
11	”備えの進化”が周知されることで、認知症医療は変化してくると思いますし、共生社会につながる鍵になると思いました。
12	出演者の選択が非常に良かったと思います。事務局の方々、大変お疲れさまでした。
13	社会の理解が進むようもっと関心を持っていきたいし、関心を持ってもらいたい
14	今まで他の（看護系の）認知症研修を受けたが、今回ののはとても良かった。
15	プログラムは大変良かったです。多くの方に見てほしいと思いました。
16	共生方法の広がり取組について知ることができて良かったです。
17	本人の尊厳を主軸にされたプログラム、強く受け止めました
18	人口の少ない市町村での取り組みを紹介してほしい

19	地域の高齢者の集会で話ができる内容でした
20	毎年貴重な企画、運営に感謝申し上げます。
21	多職種で薬局での取組も知りたい
22	また参加したいです

2.挨拶に関する感想

①良かった

1	来賓あいさつで江澤理事の身内の方の話が身近に感じて心に残りました。大阪万博でブースがあったのは知らなかったので、他県でもそういうブースイベントを行ってほしいと思った。
2	ご来賓の方々のご挨拶が良かったです。

3.講演に関する意見・感想

①よく分かった・有意義だった

1	最新の認知症施策の動向は長かったのですが、認知症に対する国の考え方が良くわかりました。認知症カフェを主催していますが、今後の目印になると思いました。
2	認知症基本法が制定されてからの、認知症観の変遷をデータで知ることができ、自身の仕事について励みになります。国の予算についてもコメントあり、当事者とのやり取りも参考になりました。
3	現在地域での孤立防止のためにピアサポートを行なって行く取り組みがすすんでいることがわかりました。
4	国（厚労省）の方向性を確認できたことは有意義でした。

②分かりにくかった

1	法律や国の目指すものが、もう少しスライドや発表でまとめられているとよいと思った
2	最新の認知症施策の動向について、内容の理解についていくのが大変だった。
3	施策の動向はもう少し一般の方が分かるように話してほしかった。
4	講演がもう少し一般的な内容であるとよかったです

③その他の意見

1	最初の厚労省の方のお話はしっかりとよく聞きたい内容であったのに、わずか30分でとても速くしゃべらなければこなせない濃密な講演で、聞き取れず理解できないまま次々に話が進んでいってとても残念でした。もう少し時間配分を多くしてほしかったです。
2	（個人的な関心で恐縮ですが）法制度に関心があるため、厚生労働省の方による基調講演に関心がありました。そのため、もう少し時間を割いていただけたら、より充実した内容のお話がお聞きできたかと思います。
3	厚労省野村様の話で認知症観の変化に関して否定的なものが減少しているとありましたが、実務上の経験ではまだまだマイナスに取られる面が多いと感じています。
4	自治体に厚労省の説明が伝わっていないのか、計画立案で終わっているところも多い。地域推進員は兼務では不十分だと思います。専任を置くべきだと思います。
5	最新の認知症施策の動向に興味をもって視聴しました。少し話されるスピードが速くてついていけませんでした。
6	国の施策の今後についての見通しを聴くことができ、いくらか希望が持てる気がした
7	国の認知症施策を知り、活動に活かしたい
8	講演者がウェブ参加になったのは残念。

1) 全体

①当事者の意見を聞いて良かった

1	自分も以前に比べて記憶力や出来事に対しての聞き取る力が衰えてきたと感じます。ですが、それを人に話すのは怖い気持ちがしています。 当事者の方がお話をされるという事はとても勇気がいることと思いついていましたが、ご自身の気持ちに素直にお話をされる姿を拝見し素敵だと感じました。お話を聞いて笑ってしまうこともありました。よい時間をありがとうございました
2	パネルディスカッションで、認知症になっても、希望を持った未来を持ちたいと言われた言葉が、心に残りました。自分らしく生きるために、自分は認知症と知ってもらい、できない所はサポートを受けて、実現していくこと、なかなかできることではないと感じました。
3	医療情報等は他のコンテンツや研修でも受けることができるが、本人さんの声をうかがえるのは貴重。本人さんの活動をもっと充実させて、それぞれの立場で「何ができるか」「どうしていけば理想か」など考える機会になるといいと思った。
4	パネルディスカッションが特に印象に残りました（特に、藤田様の「本人の方が元気になったから他の方も元気になってほしいと思ったらそれがピアサポート」と話されていた事）。
5	地域で助けてもらいながら生活している当事者の方の話がよかった。認知症患者が特別でなく、地域の中で生活できることは素晴らしいことだと思いました。
6	実際に認知症の方の生の声を聞くことができよかったと思います。普段から関わっているであろう市の職員とその市の取り組みも興味深かったです。
7	認知症の方から話が聞け、不安や今後の希望についての本心が聞いて良かった。 認知症も直せる時代が来てほしいと思った。
8	当事者の話（内容）もっと聞かせてほしかった。他にも当事者の方が会場にお見えになっていました。その方のお話も聞きたかったです。
9	本人の気持ち、意見を聞けるパネルディスカッションは大変印象にのこりました。当事者同士の会話もあったらよいかも、とも思いました。
10	認知症の人とともに築く地域の内容が、ご本人もみえ、生の声を聴くことができ良かったです。
11	ご本人がしっかり自身の言葉で語られている姿を見せていただけて勇気をいただきました。
12	認知症ご本人様の今の考えや思いなどを聴くことができ大変貴重な時間だったと思います。
13	パネルディスカッションにて認知症ご本人2人の声が実際に聞けたこと。
14	パネルディスカッションで当事者の方の意見が聞けたことが良かった
15	認知症の人、本人の心理、意見が聞けたのがとても良かったです。
16	認知症本人の意見を聞く機会がなかったので、参考になりました
17	ご本人が参加されたパネルディスカッションは印象に残りました
18	パネルディスカッションで本人さんの意見や実際に聞けたこと。
19	認知症当事者の登壇は、画期的で興味深く伺うことができた。
20	認知症本人の話は（＋行政の話も）とても参考になりました
21	認知症ご本人のお話は一番聞きたい、参考になります
22	当事者をご自分の言葉で語られたのが印象的でした。
23	今後も認知症の方の生の声を聴かせて頂きたいです
24	認知症本人の方のお話をこれからも聞かせてほしい
25	認知症本人のご意見が直接聴けたことがよかった。
26	ご本人の声を聞くことができ、良かったです。
27	認知症本人の方のお話が聞けたのが良かった。
28	認知症患者様本人の声が直接聞いて良かった
29	認知症本人の話はとても参考になりました。
30	当事者の方の声は、今後も発信してほしい。
31	認知症当事者のお話が聞いて良かったです。
32	当事者の話が聞けるので良いと思います
33	当事者の方のお話が聴けて良かったです

34	認知症当事者の話がとても良かった。
35	認知症当事者の声をきけてよかった
36	本人の意見が多く聞けて良かった。
37	当事者の声が聞けて良かったです
38	認知症の方の話と地域の取り組み
39	久保さんのお話・地域の支援
40	当事者発信をもっと聞きたい

②藤枝市のお二人が良かった

1	パネルディスカッションの藤枝市の久保さんと、横山推進員の講演が印象的でした。 認知症ケアバスや相談窓口の在り方などを改めて考えるきっかけとなりました。 久保さん（当事者）の発症当時の不安や相談機関に行きつくまでのお話し、生活の工夫（機械）や地域へ自ら協力を求めている姿など、今悩んでいる方の励みになると思います。お話ししていただきありがとうございました。
2	パネルディスカッションに登壇された、藤枝市認知症地域支援推進員の横山さん、認知症本人の久保さんのお二人による発表が大変印象に残りました。日頃の暮らしの中での工夫や道に迷った時の心境、助けを周囲に求めることをどう考えるか、生きがいであるスノボへの思い…など、ご本人の大事な意思を丁寧に引き出して形にされている様子を見て、自分の業務へ生かしていきたいと思いました。
3	発表者同士の関係性が信頼関係が構築されていると感じました。 当事者の方がくり返し話されていた、相談先については現状は必要のないどんな世代においても周知が十分されていて、実際に困ったときに相談先を迷わないで済むようにしてほしい、と話されているように感じました。
4	昨年までの本人談とは違って質問しながらの話を聞けて良かった。暮らしを支える地域の皆さんの協力がとても大切だなと改めて感じました。周りの人のサポートがあれば本人も安心して暮らせていけるんだと思いました。
5	認知症のご本人久保さんのお話から藤枝の横山さんを含めた地域の方々の関わりがとても良いものであることがわかりました。私も地域との関り、日頃の患者さんとの関り方をみんなで考えたいと思いました
6	パネルディスカッションの当事者の語りと行政の方のお話から、地域での具体的な活動とその効果の両方が垣間見えた気がします。
7	パネルディスカッションでの当事者と支援に当たる推進員のやりとりはとても参考になりました。
8	藤枝市のお二人の講演が特に印象的でした。自分たちも声を拾っていかうと思いました。
9	登壇された認知症当事者の久保さんの姿と、推進員の横山さんの関係性に感動しました
10	当事者とその支援者の方の声を聴く貴重な機会となり参考になりました。
11	パネルディスカッションと二人の講演が良かったです
12	横山様・久保様のお話が印象的でした。
13	藤枝市の取り組みと藤田さんのご意見

③当事者の意見が大事だと思った

1	当事者の方の率直な意見を聞き、何が必要とされているのかを考える機会になりました。できないことだけに目を向けるのではなく、これからもできることを意識することが大事だと気づきになりました。
2	現在直面している人の意見を聞くことの大切さや必要性が改めて分かった。直面していない人だけでは推測でしかない。実際の声を取り入れながら一緒に考えていくことが逆に一番近道である。
3	認知症の方の想いがよく伝わってきました。地域の方々との関係性の構築のためには、自らが認知症であることをオープンにすることも大切な要素である事を改めて感じる事ができました。
4	藤枝市の取り組みや認知症の方を取り巻く地域の人々の温かさを感じました。隠したり伝えられない人もいる中で本人さんが「教えて」といえるのもすごいことだと思いました。
5	パネルディスカッションのご本人の発言や全体討論を通じて、自分たちのやっていることを見直す機会となり、参考にしたいと思っています。
6	パネルディスカッションでの本人発信、ピアサポートの必要性を改めて感じる事が出来ました。
7	共生社会ということで認知症の人と共に考える取り組みが素敵だと思った
8	本人の意見に耳を傾け、参考にしたい進めていきたい
9	本人主体の支援の必要性が、再認識された。

④体制の整備に関する意見

【資料4-1】

1	パネルディスカッションでの意見でもあったが、実際に地域のかかりつけ医に認知症診断を受けても、専門医にかかれなないこともある。地域によっては専門病院が遠く、独居、移動手段がなく、金銭的に困難等があげられる。
2	認知症ご本人からの切実な希望として、体調の異変に気づいても不安や認められない人がどうにか相談につながる地域の繋がりが絶対に必要だと思いました。
3	認知症の久保さんの、(相談できる場所があるといいな)というのが一番ここに残りました。
4	早期しんだん、ピアサポート、居場所づくりとても参考になりました。
5	ピアサポート活動が全国各地で実施できるといいと思った。
6	ピアサポートの広がりが実現すると良いと思います

⑤早期診断が大切だ

1	認知症の診断を早く促すため、希望者には物忘れ外来を勧めると関心も高まる
2	早期対応と予防。認知症になってもできることを多くの人に知ってほしい
3	MCIの時点で、治療開始すること、予防対策をすることが大切。

⑥当事者が活動するに至ったきっかけを知りたい

1	久保さんや藤田さんのように自ら前に出て活動するには何がきっかけになるのかということを深く考えていこうと思いました。
2	ご本人と関わり、思いを発信するに至る具体的な経過を知りたかった。

⑦その他の意見

1	「認知症になってもできることはある」明日より利用者様と関わる際に、この言葉を忘れずにいたいと思います。今日は、良い学びの場を提供頂きありがとうございました。
2	パネルディスカッションのテーマが大きすぎるので、小さなテーマで3つぐらいでも良かった
3	認知症の方の現状をもっと詳しく知りたかった。特に、地域の方との関わりについて。
4	藤枝市の実際の話がとても良い取り組みと思ったので全国区で拡大してほしい。
5	誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて が一番印象的でした
6	自分の支援はどうかな？と考えさせられました。

2) 事例報告（藤枝市）

①良かった

1	パネルディスカッションで藤枝市の取組が紹介されたところ。ケアパスで本人の意思を記入できる欄が参考になった
2	パネルディスカッションで推進員の方と当事者の方の発表がとても良かったです。
3	認知症の人とともに築く地域 横山さんの取り組みが大変興味深かったです
4	横山さんの取り組みは素晴らしかったし、人間味あふれる人ですね。
5	行政の立場として、藤枝市の内容がとても参考になりました。
6	藤枝市のモデルは各市町村の手本になると思いました
7	パネルディスカッション①が良かったです。

3)事例報告（当事者）

①当事者の意見を聞いて良かった

1	実際に認知症になってしまった方のお話を聞いたのはすごく良い機会だと思った
2	認知症の当事者の話しを聞ける事が興味深聞くことが出来ました。
3	当事者の方のお話しをうかがえたのはとても良かったと思います。
4	認知症になってからものご本人の言葉が特に心に残りました。
5	当事者の生の声を聴くことができて良かったです。
6	認知症当事者の方からのお話が印象的でした。
7	認知症当事者の方のお話が聞いて良かった。
8	認知症当事者の話しが聞いて良かった。
9	患者さんの生の思いが聞いて良かった
10	ご本人の生の声が印象に残りました。

11	ご本人の話しが聞けたのはよかった
12	認知症の当事者さんのメッセージ
13	認知症の方本人の話が聞けたこと
14	当事者のお話が印象に残りました
15	当事者の発信が印象的でした。
16	久保さんの話が良かったです
17	認知症患者御本人が登場
18	久保亜紀子さんのお話
19	久保さんの参加と内容
20	認知症本人が出てる
21	認知症ご本人のお話
22	本人の意見が聞けた
23	認知症ご本人の登壇
24	認知症本人の講演
25	本人さんの講演
26	久保亜希子さん
27	認知症本人の話
28	ご本人の登場
29	当事者の話
30	本人の言葉
31	ご本人の話
32	本人の声

②共感できた・良かった

1	認知症になったか方が発言をされていらっしゃいました。認知症と診断されショックだったと思いますが、今でもご自分の希望する生活ができていることをすばらしく思います。自分が認知症になったらどうなるんだろうと考えさせられます。家族が認知症になったらどうサポートすればよいのかこちらも自信ないです。
2	『本人からの言葉』は一番響くと思いました。相談窓口等が世の中に浸透するとともに、当事者本人が窓口になり、ピアカウンセリングに繋がることができるよう、普及啓発していかなくてはいけない思いになりました。
3	「希望を持った未来を持ちたい」は誰もが考えることと思います。基本法の共生社会の実現のために、この考えが浸透するような取り組みを自治体も民間も一緒になって進めることが必要だと感じました。
4	認知症本人の話がとても印象的でした。実際に認知症になったときにどこに相談したらいいのか、戸惑いが伝わり不安だったことをすごく感じました。入口の支援は大切ですね。
5	ご本人の「やれることがあることを 次伝えたい」「最初はショックだったけど今は会があるから」と何事にも笑って話されていたことが印象的でした
6	当事者の方のお話が聞けたのが良かったと思います。実際に生活者としての意見を伺うことができ日々の業務や活動に対して学びになりました。
7	シンポジウムの藤枝市の方の発表が印象的でした。ご本人の性格や地域も相まって、安心して暮らしている状況が作られていると感じました。
8	認知症の方の話しが印象に残りました 認知症があっても趣味を継続していることに感銘を受けました
9	認知症当事者の声はとても説得力がありました。 「社会と繋がっていたい」は義母も常々言っていましたが、何もしてあげられず…
10	認知症になっても希望をという言葉にハッとさせられました。 私は認知症の方に希望を持てるような支援出来てる?と。
11	認知症になった人でも落ち込まず、やりがいを見つけて生きていく前向きな姿勢に感銘しました。
12	認知症になっても地域でどのように過ごしていけば、お互いに良いのか、考えることが出来た。
13	認知症本人の話が聞けた事で、認知症の方でも前向きに過ごしている実感が良くわかった。
14	認知症について「今は良かったと思っている」という言葉の背景が良くわかりました。

15	当事者のご発表には勇気づけられました。どうもありがとうございました。
16	認知症当事者の方のお話がまさに共生社会に必要なことだと感じました。
17	認知症当事者の方の意見を聞くことができ今後の支援の参考になった。
18	②の久保さんのご講演がとても素晴らしかったです。
19	久保さんのお話、熱意が伝わってきました。
20	②久保さんのお話がとても良かった
21	久保田さんの言葉が心に響いた。
22	認知症の人のスノボのvideo

4) 全体討論

①良かった

1	パネルディスカッション。当時者本人から相談するところがわかるようにしてほしいとか、具体的な困りごとや、解決方法の事などを聞くことができた。
2	パネルディスカッションにおける発言で本人視点の重要性を改めて感じました。
3	藤田和子さんの当事者としてのお話が、支援する立場として、とても参考になりました。ありがとうございました。
4	当事者の方も交えたパネルディスカッションがとても良かったです。現実的であったし、課題も見えました。
5	パネルディスカッション「全体討論」が良かったです
6	認知症の当事者としての会話が興味深かったです。
7	パネルディスカッション（での藤田さんのコメント）
8	認知症ご本人の対話

②気づきになった

1	パネルディスカッションで何が必要か、具体的にわかった。予算をどこに付けるか、その問題が取り組むことだと感じた。
2	パネルディスカッションの討論が気づきになった。

③少し気になった

1	パネルディスカッションを期待して聞いていました。それぞれの方のご意見はわかるのですが、何か微妙にかみ合っていない感じがしました。そこが少し気になりました。
---	---

1)全体

①良かった

1	予防のプログラムの進化していると感じることができた。スクリーニングツールを当てにするのではなく、変化をとらえることが大事であると言われたお話も、また年相応だと診断され治療遅れを招いていることも確かに現場であり、大勢の先生が変化を捉え早期診断やせめて紹介（事務局注記：文字切れ発
2	スクリーニングツールに頼るより日頃と違うという観察からの診断については、長谷川式などの点数にこだわったり、年相応と診断を先延ばしにしてしまう一般の医師に聞かせたいと思いました。
3	薬物療法の最新情報、社会参加アプローチの意義と方法、デジタル技術の活用状況、認知症初期集中支援チームの最前線など、今後の可能性を様々な視座から学ぶことが出来て大変有意義でした。
4	全国のレベルの知見等とても参考になりよかった。特に、予防に関する考え方のまとめは、今悩んでいたことなので、とても良いお話を聞けました
5	幅広い内容でした。根拠のあるご説明や、実践するために必要な知識も改めて学びになりました。しかし地域差も感じました。
6	各分野の一級の講師のお話良かったです。やや盛沢山の印象もありますが、認知症の関係全体をとらえることができました
7	シンポジウムは最前線の現状が大変よくわかりました。すべて行政・自治体の方は必須受講にしてほしいプログラム内容でした。
8	一番の関心事は、何が認知症に良いか皆さん知りたがっているところだと思います。そこを掘り下げていたと思います。
9	医療、運動、薬剤等の話が聞けて良かったです。定期的にこのような話が聞きたいと思いました。
10	異なる立場からの発表と質疑が学びとなりました。ありがとうございました。
11	シンポジウムの先生方にお話いただいた内容が大変勉強になりました。
12	薬物療法、非薬物療法ともにプログラムに合ったので知識が広がった。
13	シンポジウムで当事者参加の取り組みが聞けたことが良かった
14	シンポジウムが最新の動向を拝聴できて良かったと思います。
15	実臨床の知見を反映していたので全体に良い。
16	シンポジウムはどのDrも本当に素晴らしかった。
17	シンポジウムでの取り組みが参考になりました。
18	様々な立場の医師の意見

②地域・社会づくりに関する意見

1	本人、家族、専門職において相互につながりづくりが重要であると感じました。認知症が予防も治療もできる時代が早く来てほしいです。
2	認知症になっても社会全体で共生できる社会作りがどこでも当たり前になってほしい
3	医療と介護の連携には課題が多い。特に医療側の理解がなければ、連携できない。
4	地域への実装のノウハウを行政にも教えていただきたいです。

③早期診断に関する意見

1	現状の認知症の対応や医療の話が聞けて良かったです。改めて早期に対応が必要だと思いました。そこからの取り組み次第で、現状が変わること。
2	MCIの早期発見のため検診に取り入れているとのこと。（名古屋市や大分）全国に広がってほしい。
3	MCIの判定基準があいまいではないでしょうか

④勉強になった

1	絵本やコグニポールなどの最新の研究結果について知見を得たことで認知症やMCIについての治療や支援はこれからさらに広がりを見せるだろうと思え、心配だけでなく、ポジティブな考えも持てるようになる良い機会でした。
2	絵本読み聞かせやコグニポールは興味深かった

⑤その他の感想

【資料4-1】

1	講演会の内容を、初心者でもわかるように教えてもらいたかった
2	各テーマ（シンポジウム）が時間が短くて早口だったのが残念。

2) 薬物療法の最前線

①勉強になった

1	認知症治療薬における治療薬や脳内について詳しくご講演いただきありがとうございました。 また費用についてもディスカッションで聞くことができた。
2	レカネマブ、ドナネマブによる治療の最前線の現状を知ることができて大変ありがたかった。 講義をする際もこの治療についての質問が必ず出るのでは。
3	最新の治療について具体的にお話しただけなのはありがたかった。一般の方に話をする際には必ず聞かれることですので。
4	当院でも採用されている薬物療法のデータについてお話が聞けて良かったです。
5	薬物治療だけでは十分な効果は得られない、ということを実感した。
6	薬物治療について聞いたかったので、大変参考になりました。
7	薬物療法の最新情報を知ることができ有意義な研修でした。
8	薬のことを聞かれることが多いので、学びになりました。
9	最新の点滴治療について知ることができ良かったです。
10	薬物治療の現状がわかりやすくよかった
11	認知症薬についての理解も出来ました。
12	点滴治療とその効果については驚いた

②薬価に関する感想

1	レカネマブとかドナネマブとかどうなんだろうと思ってましたが知ることができて良かったです。どうやらまだまだ先は長い、長すぎる。認知症のひとは700万とかいるのに3桁だったとは
2	レカネマブもドナネマブも薬価が高く、これが何とかならないと

③その他の意見

1	新薬が出たことで、社会全体の認識が「認知症は治る病気」という位置づけに変わってきている事を感じた。とても参考になった。
2	認知症の薬が今まで以上に開発が進んで行くことを望みます
3	認知症の治療薬について。

3) シームレスな社会参加型アプローチ

①参考になった

1	ボランティア活動から認知症カフェに繋がてくなどの取り組みについては大変素晴らしいと思いました。 認知症になると終わりというイメージがどうしても田舎は強いですが、今の認知症は、昔の認知症とは行動も言動も違います。過去の認知症のイメージを払拭するような活動はとても素晴らしいと思いました
2	絵本を活用した読み聞かせプログラムのお話は参考になりました。どの世代にも受け入れられやすく様々な発展性がある方法ですね。追加報告を拝見できるとしたら東京都健康長寿センターのHPでしょうか？
3	シームレスな社会参加型アプローチとして、絵本の読み聞かせを実施しているというお話が参考になった
4	楽しみ・やりがいを続けるために体や頭の健康づくりをする視点が大事だと改めて感じました。
5	認知症の予防のために運動が必要である。（読み聞かせに行くために体力をつける）
6	シームレスな社会参加型アプローチを含めた、シンポジウムはとても勉強になった。
7	絵本の読み聞かせが、こんなに効果があるのが興味深かった
8	絵本読み聞かせ認知症・フレイル予防事業興味があった。
9	認知症予防を楽しんで行えるのは理想だと思う。
10	良かった

②やってみたい

【資料4-1】

1	絵本の読み聞かせでは、何を読むか考えて、練習して、実践するなど、効果があると知り、小学生ではなく大人に対しても良いと知りました。 少しずつ、取り入れていってみたいと思いました。
2	シンポジウムの中でも絵本の読み聞かせを以前から行っているのとても興味深く、実践されている方にも伝えたいと思いました。
3	社会参加のアプローチの中で、絵本読み聞かせは、子育てサークルなどからのお誘い、他の団体との関わり、チーム力の大切さから是非、地域で取り組んでいきたいです。
4	シームレスな社会参加型アプローチはまさにその通りと思い、SCと協力していきたいと思っていることでした。
5	質問でも出ていましたが、私の所属する地域でもやってみたい、自分も参加してみたいと思いました
6	絵本の読み聞かせについての講演がとても共感でき、当施設でもやりたいと思いました。
7	高齢者絵本の読み聞かせが認知症の予防に効果があるので実践してみたい。
8	とても実際がわかりやすくやってみたいと思いました。
9	絵本の読み聞かせの講習に参加したいです

③良かった

1	とても興味深い内容であったと思います。特に社会参加に対する取り組みは、エビデンスもあり今後の活動に活かせると思います。
2	シンポジウムでの読み聞かせ、参加型の取り組みも素晴らしいと思いました
3	「認知症予防から共生へ」が印象に残りました。

4) デジタル技術の活用

①良かった

1	エビデンスについて聞けてよかった。 今、予防教室ではe-スポーツやタブレットを使った学習が取り入れられようとしています。しかし、今日講演を聞いて、一方的なものよりやはり集団で行った方が効果が高いとわかりました。また、コグニサイズにもまだ、確かな効果測定が必要な事も理解できよかったです。
2	とてもよかったです、コグニサイズの効果がはっきりと数値化され我々看護師が自信をもってリハビリに利用できるようになってほしいと思いました。
3	身体活動による疾病予防の流れ・コグニサイズが今後の参考になりました。ありがとうございました。
4	認知症と運動活動の重要性を理解できた点（が印象に残った）
5	よかったです。運動はやっぱり必要なんですね。
6	高齢者のデジタル活用の可能性は感じました。
7	認知症と運動関係が興味深かったです。
8	DXの取り組みの発表がよかった
9	参考になった

②広めたい

1	高齢者になるほど運動の必要性が増す事が印象深かったです。運動しながら知的活動の組み合わせもプログラムとして考えたいと思いました。
2	コグニポールの話が興味深く、事業所内で取り入れたいと思いました。
3	運動の大切さ、コグニサイズ、自分の親に勧めようと思います。
4	コグニポールの話が印象に残った。ぜひ普及してほしい。

②その他の意見

1	認知症予防、健康寿命の延長のために「運動」が必須であることが印象的でした。今から運動習慣を身に付けてゆきたいです。
2	地域でもアプリ利用した予防的活動ができると良いと思った。モチベ大事。

①良かった

1	認知症カフェ、初期集中支援チーム員として活動しておりますので、参考になりました。その集まりがピアサポートとなり、家族相談の場になっております。
2	「多職種連携」はとても大切なこと（看取りを終えて知った）身近であってほしい
3	なかなか医師が中心に動いてもらえる事が少ないので 今後拡がってゆくと良い。
4	認知症初期集中支援チーム、多職種連携などの内容を聴け良かった
5	内門先生の話は自分の現在の役割と重ねて聞くことができました。
6	「HIRASTUKAモデルの実践」が印象に残りました。
7	もっと内門先生の実践や取り組みを聞きたかった。
8	各ステージでの連携の重要性が印象的だった。
9	平塚モデルについて確認できたのは良かった。
10	私たちの地域にも構築できたらと思いました
11	自分の市でも平塚モデルの活用を希望します
12	ヒラツカモデルは理想。良いなと思った
13	平塚市の取り組みがもっと知りたいです。

②詳しく聞きたかった

1	ひらつかモデルをもう少し詳しく聞きたかった
2	平塚モデルをもう少し詳しく聞きたかったです

③その他の意見

1	認知症施策に応じた、我が地域の今後の働きについて、参考になりました。ありがとうございました
2	認知症の備えを地域で育む－HIRATSUKAモデルの実践が、当たり前の世の中になれば良い。
3	SHIGETA HOUSEは近かったら行ってみたいところですが少々厳しいです

6.運営面

1)資料に関して

①講演で冊子に掲載されていないスライドが使われた

1	抜粋した資料のみの配布で、内容を再確認したい場合はアーカイブ配信を見てくださいとのことです が、肝心の配信の画質が荒く、小さい字が読めません。演者も抜粋した資料しか配布されていることを知らずに講演されているようで、二重にわかりにくい講演となっています。抜粋していない資料の配布か配信画像の改善のどちらかをお願いしたい。
2	事前資料と本番が違い、どこに書いてあるのか？と、探してしまい、話半分になってしまいました。あとは先生の喋りが早すぎて自分の理解が追いつかず、もう少し深く知りたかったと、残念に思いました。
3	事前配布資料と当日の映写資料が若干異なっておりましたので、後日でかまいませんので、当日の映写資料を共有していただけたら大変幸いです。
4	最新の認知症施策の動向の資料が途中抜けていましたが、画面が小さく文字が見えにくく、進行も早かったので内容がわかりにくかったです。
5	最新の認知症施策の動向で事前配布にないスライドが多くあったので出したスライドをwebに掲載していただけると助かります。
6	できましたら講演資料はもう少し手厚めに冊子へ掲載いただけたらと思います。公演中ももう少し詳しく確認したかったです。
7	最新の認知症施策の動向では資料がなく、どの部分を話しているのか混乱しました。資料があると良い。
8	「最新の認知症施策の動向」の資料（講演で表示された実際のパワーポイント資料）をいただきたい
9	厚労省の方の演題についての、資料は、もう少し多くの資料を出してほしかった。
10	資料があってよかったが、講演はスライドがないのが多くて、わかりにくかった。
11	「最新の認知症施策の動向」の資料は当日使用された資料が欲しい
12	講演の資料がすべてではなく、スライドも細かく見づらかった。
13	手元にない資料もあって探している間に進んでいき残念だった
14	講演の全体資料が欲しい。厚労省のHPにあるのでしょうか？
15	最新の認知症施策の動向の完全版の資料がほしかったです。

16	最初の講演が資料がないところが多かったのが残念です。
17	印刷資料が一部でしかなく、そのため分かりにくかった
18	資料が事前資料にないものが多く少し困りました。
19	厚労省の資料がよく見えなかった。

②シンポジウムで配布した冊子は英語になっていた

1	資料が一部英語記載でした（画面は日本語でした。）少し残念でした。
2	シンポジウム③の資料・冊子も日本語で表記してほしい。
3	資料は日本語で表記してほしい。ゆっくり話してほしい。
4	資料英語表記はなかなか理解が難しいです。

③その他

1	資料のパワポと本番が違って見にくかった。英語のみもありわからない。
2	パンフの文字が小さくて読めなかった。

2)開催時期・曜日・時間に関して

①時間の長短

1	長すぎる。できれば2時間、できなければ3時間以内にしてほしい。
2	色々詰め込みすぎて講演が長い印象。せめて3時間にしてほしい。
3	とても分かりやすかったですし、休憩の間合いも良かったです。
4	とても大事な事が詰め込まれていましたが、とても長かった。
5	全体を網羅した内容だったと思いますが、4時間は長かった
6	少し長かったですが、楽しく興味深く参加できました
7	時間配分及び内容も充実しており良いと思いました。
8	全てが長すぎず聞きやすく飽きずに聞けました。
9	全体では長時間で少し疲れました
10	半日では短すぎる。

②時期・曜日

1	1月の時期の開催は行政の移動で担当も変わりやすい中で、比較的、担当者全員が認知症施策を落とし込み理解した後の適当な時期でよいと思いました。ありがとうございます。
2	開催時期が年初めで、開催時間も長いため、仕事の上で全て参加出来なかった。
3	もう少し早い時期に開催していただけるとありがたいです
4	日曜日の開催を変更してほしい

3)時間配分に関して

1	プログラムが2本立てになっておりわかりやすかったです。介護と医療の連携に関するフォーラムでもあるので、シンポジウムのそれぞれの項目の時間をもう少し長くし、連携の具体がもう少しわかると良かった。
2	最新の認知症施策の動向の内容は、端的に説明は難しいと思いますが、時間が長いように感じました。ご本人の声を聴ける時間を多めに配分したほうが良いと思います。
3	盛りだくさんの内容でとても勉強になりました。内容が充実していたからこそ、一つ一つのプログラムの時間がもう少し長い方がよりよかったと感じました。
4	認知症に関しての様々なテーマがあり、充実した時間になりました。最後の質問の時間が比較的多くの質問、回答を聞くことができ良かったです。
5	冒頭のあいさつの時間よりも、先進事例や当事者の声などの時間を増やしてほしいです。

4)Zoom参加は良い

1	オンライン参加しました。子どもが小さく、現地参加できないので、オンラインを続けてほしいです。
2	Zoomでの開催は、多くの人が視聴できるのでありがたいです。
3	zoom参加、自宅パソコンで参加できたこと、とても良かった。
4	今後もオンライン参加できると助かります。
5	無料、ハイブリッドが有難いです

5)音声に関して

【資料4-1】

1	インターネットの状態が悪く、野村先生の講演最初が聞けませんでした。資料を参考にさせていただきました。有難うございました。
2	A講演「最新の認知症施策の動向」音声聞き取りにくかった 配布資料ないスライドがとても気になった
3	時間の問題なのか、非常に早口で発表された方がいたので、聞き取りにくい場面があった。
4	こちらのデバイスの問題かもしれませんが音声聞き取りにくいところがありました。

6)出演者に関して

1	最近の知見や取組みを聞いてよかったです。もっと本人の声を聞きたかったです。
2	厚労省以外、高齢の演者が多いように思います

7)内容に関して

1	より深く学びたい場合の次のステップについても紹介していただきたいと感じた。
2	全国からの事例をもう一つ二つ、紹介して欲しい。

8)その他の意見

1	オンライン参加できるので、遠方から参加しやすくてよかったのですが、講演会全体の時間が長く、休日日中の開催のため、参加の調整がしにくかったです。アーカイブ配信等していただけると、都合の良いときに分割で見ることができ、聞き逃したところを再度確認することもできるので、検討いただきたいです。
2	認知症予防専門士にも講義単位となったらよいのにとおもった。 浦上教授がいたので・・・。
3	WEBでの質問については、資料の案内と同時に前日までの受付としていただけると、有難いと思いました。
4	アンケートの選択肢が少々選びづらかったです。

7.その他の意見・要望

1	1階や2階での場所の案内が欲しかった
2	室内の温度が最初高く暑かった。

1.各種の取組み

①当事者や家族への取組み

1	BPSDがある人、重度の人の今後も考えていかなければならない。この状態になると精神病院に繋がり薬物療法が開始になりお元気だった方が誤嚥性肺炎で半年で亡くなったケースもある。そのような人が多い未来にならないように、重度のケースについても今後どのように進んでいくべきか直面している人の意見が知りたい。介護保険サービスの現場ではBPSDに対応しきれない現状も多々あります。
2	シンポジウムの質問にもあったように、受診を拒む当事者や家族との出会いの場をどう作るか難しい場合（当事者が嫌がるのは無理もないと思うが家族も受診させたがらない）、診断後の当事者の社会参加が家族の無理解・非協力によって阻まれてしまう場合などについて介入方法の良い方法があれば。（検診や地域の行事やイベントなどにも参加していただけない）
3	認知症が疑われるかたを医療へつなぐことに苦慮しております。また、確定診断まで時間がかかるなど、本人や家族の気持ちが冷めないうちに支援することの難しさを感じています。 脳ドックも公費補助があると支援しやすいのかなと考えています。
4	認知症初期の方の件はとり上げられる事が多いが、後期で食事の仕方もわからなくなってしまったり意思決定ができなくなってきてしまった方に対しての講演をお願いします。本日はありがとうございました。
5	身寄りのない高齢者の担当ケアマネのシャドーワークについて。独身高齢者が亡くなった場合、高齢の兄弟姉妹が葬儀をすることになるが難しい。成年後見人は葬儀はできない、どうしたら良い？
6	訪問看護ステーションで働いている看護師です。認知症の自覚や受診拒否がある方の対応が悩ましいです。在宅や家族支援についてのテーマを今後取り上げてほしいと思います。
7	慢性期病院ですが、認知症周辺症状とかたづけられ薬物投与を余儀なくされるケースもあり、そのような場合の施設での取り組みかた。スタッフへの教育。
8	すでに認知症が進行している人(中程度～重度)への対応について、何か新しい視点や取り組みがあれば知りたい。
9	ユマニチュードの実践について最新の知見やデータがありましたら是非取り上げていただきたいです。
10	認知症の人の意思決定支援と地域の中でのネットワーク作りを参考にできればと思います。
11	認知症看護認定看護師です。実際のケアに関する事例の講演などがあると嬉しいです。
12	精神科地域包括支援における精神科デイケア（認知症）の取り組み
13	要介護認定を受けている重度の認知症の方への家族支援について
14	BPSDに対する対応及び、有効な薬についての話が聞きたい。
15	認知症の方のACPや、身寄りの無い方の支援について
16	介護（ケア）の成功事例などの話をもう少し聞きたい
17	「BPSD」と「身体拘束の廃止と防止」について。
18	病院での認知症ケアの取り組みを募集してほしい。
19	認知症の人が最期まで自宅で生活するためには
20	認知症の方の生活に即した権利擁護問題全般
21	貧困やネグレクト（虐待）への支援
22	MCIの方及びその家族に対する支援
23	受診を拒否する人への介入方法
24	認知症の方の緩和ケアについて
25	災害に備えた認知症ケアなど
26	認知症ケアの最新動向です。
27	認知症の人の意思決定支援。
28	広く深いBPSDの対応法
29	認知症患者のACP
30	初期介入について
31	高齢者の要支援
32	看取りについて
33	意思決定支援
34	認知症のケア
35	家族の支援

②医療・介護の取り組み

1	介護事業サービス事業所での地域との連携や取り組みについて、具体的で実践的な内容をお聞きしたい と思います。中規模でも行える地域貢献を含めた取り組みを行いたいと考えています。
2	MCIの早期発見、就労継続等 早期アプローチが認知症予防のスタンダードになると良い。 がんの早期発見と同じ位の啓発方法について知りたい。
3	診断から専門職の相談に結び付ける先進的な取り組み。診断後、数年経過して、若年性認知症支援セン ターにつながる残念なケースが現在も多発します。涙！
4	病院における認知症ケアサポートチームなりの設置促進について（行動・心理症状のため強制退院に至る 問題を如何に考えるのか？）
5	認知症初期集中支援チームが困難事例ではなく早期段階の不安な時期の関りなどの事例やチーム員活動の 効果検証など。
6	施設内での困難事例、職員不足、ICT化などを含めて具体的な対応策を知ることができると良いです。
7	健診に認知症のチェックも必須になればと思いますが、そのような取り組みがあれば知りたいです。
8	認知症の本人及び家族の心の健康へのサポートについて、教えていただけると幸いです。
9	医療と介護の分野にかかわる最新のこと。認知症の人の生活に関わるものが良い。
10	認知症疾患医療センターの活動における課題について知りたいです
11	今日のような具体的な認知症の改善への取り組みを聞きたいです。
12	検診レベルで認知症機能のアセスメントを取り入れてほしい
13	認知症のリハビリテーションや介護の実践的内容について
14	認知症における地域包括支援センターの取り組みの実際。
15	初期集中支援チームの好事例を含めた具体的な体制
16	総括支援センターの役割と実態との課題・問題点
17	独居または身寄りのない認知症患者の退院調整。
18	治療によっての影響や予後も取り上げてほしい。
19	認知症初期集中支援事業での取り組みについて
20	取り組みモデルは解りやすくして良いと思う。
21	認知症初期集中支援チームの活動実践報告
22	診断前後のケアについて知りたいです。
23	認知症初期集中支援チームについて
24	家庭でできるリハビリプログラム
25	認知症の人への医療提供について。
26	補完医学分野のアプローチなど
27	認知症徘徊模擬訓練の移り代わり
28	病院が行う多職種連携の実際例
29	チームオレンジの活動について
30	対応困難事例について
31	初期集中の成功例
32	MCIの診断、予防
33	MCI

1	認知症の人本人が各地域で取り組んでいるさまざまな活動を紹介してほしい。 都会だけでなく、地方都市や過疎化の進んだ田舎なども紹介してほしい。
2	認知症の病診連携及び地域との連携が進んでいないため、取り組みが小さなものになっています。連携がうまくいっている実践例等の紹介をしてほしいです。
3	今回初めて参加させていただき多職種連携のシンポジウム感謝感激です ありがとうございました。来年も待ち遠しいです。
4	各地方や都道府県ごとに行っている地域での事例(取り組み)や当事者同士が繋がる場について紹介があると当事者へも紹介がしやすいなと感じます。
5	今日も読み聞かせ等の部分で話も出たと思いますが、地域で多世代でとらえている事例や取り組み方をたくさん知りたいです。
6	今回は、藤枝市、平塚市の取り組みの報告でしたが、もっと多くの日本各地の実情報告をして頂けたらと思います。宜しくお願いいたします。
7	MCIまたはそれ以前のSCDの段階で認知症予防に取り組めるような働きかけを行っている先進事例があれば教えていただきたいです。
8	取り上げていただいた絵本の読み聞かせはとても参考になり勇気が湧いてきたので、その他の社会参加の例も紹介してほしい。
9	本人・家族ミーティングの運営について上手く運営しているところの紹介をしてほしい。
10	認知症の人とともに実施している活動の紹介をしてほしい。(本人・地域・企業等を巻き込んで)
11	地域で行っている、認知症本人の意見をどのようにして聞いているのか教えていただきたい。
12	認知症の本人が関わって地域づくりに発展して継続している事例を紹介してほしい。
13	地域での認知症の人、認知症でない人、大人から子供までの交流の場づくり
14	過疎地や遠隔地における取り組みも、数多く知りたいと思います。
15	MCIの人を発掘するための地域の取り組みを具体的に教えてほしい
16	認知症と多職種連携に（事務局注記：文の途中で文字切れ）
17	過疎地域・限界集落における認知症を意識した地域づくり
18	より具体的な認知症の地域づくりの事例を知りたいです。
19	今回のように各地域の実際の取り組みを知りたいです
20	MCI 認知症の人たちを見守る地域の活動
21	各地域の取り組み 実践事例、施策の動向
22	全国の地域での活動状況を知りたい。
23	認知症支援における多職種連携
24	共生社会に向けた取り組み
25	多職種の連携について
26	地域作り

④各個人の取組み

【資料4-1】

1	診断後、いろんな立場の当事者の方が自分らしさをみつけて生き生きと生活されている希望の足どりをもっと知りたいと思います。
2	認知症の本人・家族も、症状が出始めた時の葛藤・対応をどう乗り越えたかをディスカッションしてほしい
3	認知症の方とのかかわりや自分自身の予防としての生活の在り方を改めて学ぶことができてよかったです。
4	実際、事業を開始するにはどうしたらよいのか。プロセスや組み立て方がわかる内容も欲しい。
5	ピアサポート活動について、複数の地区の取り組みも紹介してほしいです。
6	認知症の方に対しての具体的な治療や関わり、各症状への対策。
7	ボランティアなどで携わるにはどのような方法がありますか？
8	家族への支援もしているところがあれば知りたいです。
9	主治医から意見をもらうには、どうしたら良いのか？
10	初期の認知症にどのように対応するか。
11	症状発症時の適切な対応方法
12	介護者ピアサポートについて
13	ピアカウンセリングについて
14	ピアサポート活動の具体例
15	ピアサポートについて。
16	ピアサポーター。
17	ピアサポート

⑤行政の取組み

1	パネルディスカッションでも話題に出ましたが移動について オレンジカフェや介護予防の集いの場に参加する上での参加手段や誰でも参加できるようにしている取り組みなどあれば知りたいです。
2	私どもの行政は認知症の方へのサポートがまだまだな気がします。ほかの行政の方がどのようにされているかもっと知りたいです。
3	認知症施策の先進的な取組み（例：〇〇モデル）を行っている都道府県や市区町村の事例を伺う機会があれば良いと思います。
4	これまでも、だとは思いますが、全国の自治体の取り組みが聞ける機会がいいですね。
5	行政、医療機関、介護施設などどのようにサポートしていけるのか？
6	市町村の認知症施策推進計画について
7	市全体の地域共生社会の実践例など
8	認知症地域支援推進員の活動
9	行政の取組

⑥その他の取組み

1	認知症と共にある労働者は、どの程度まで就労できるのか？給与の対象となるのか？企業体の取り組み、創意工夫を知りたい。
2	今回の話の中にも出てきましたが、「はたらく」をテーマに取り上げて頂きたいと思います。
3	認知症の方の社会参加についての様々な取り組み事例についてお聞きしたいです。
4	介護保険サービス（施設系及び居宅系）での取り組み事例
5	介護保険サービスでの認知症進行防止の活用方法の具体例
6	バリアフリーを掲げた企業や地域の活動など知りたいです。
7	認知症の方の社会参加について
8	音楽を通して…地域共生社会等
9	当事者の就労や活動などの実践
10	認知症の方の社会参加
11	就労継続について
12	認知症の人の就労支援
13	ケアパス

①研究に関すること

1	絵本の読み聞かせは興味深いご発表でした。今後の研究発表を期待したく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。
2	認知症予防について。最近、東海大学を中心に研究されニュースになった認知症予防について
3	コグニポールの研究結果が分かれば行政等で取り入れるため費用面など知りたい。
4	認知症予防においての研究成果など新しい情報があればご教授いただきたいです。
5	コグニサイズのような効果的なプログラムはもっと知りたいです。
6	コグニサイズなどの実践的なことをもっと取り入れてほしいです。
7	脳トレのたぐいで効果のあるものがあれば知りたいです。
8	今回のように最新の研究について触れてもらいたいです。
9	治療についての最新情報を知りたいです
10	検査法がもっと安価にならないか！
11	浦上先生の講演が聞きたいです。
12	予防としての学習療法について
13	治療の最前線と社会づくり
14	認知症の進行予防とDX

②治療薬に関すること

1	治療薬投与の最前線。特に、患者や家族の声が聞けるようなプログラム。
2	都道府県別のレカネマブなどの認知症治療の進捗状況
3	認知症患者への抗精神薬投与が及ぼす影響について
4	認知症治療薬をした方のその後が知りたいです。
5	薬物療法についてもっと詳しく聞きたいです。
6	新しい治療薬を受けた方の感想（ビデオなど）
7	新たな認知症薬物療法について
8	ガン治療薬について
9	薬のこと。

③各種の症状に関すること

1	本当に自分になっても大丈夫な地域、仕組み作りについて…介護支援専門員をしているので65歳以上の方の支援の在り方や自分になった時のイメージはできますが…… 例えば40～50代の方がなった時に、具体的にどんな就労や収入、保険の加入、どんなサポート(制度)など経て生活が成立していくのか、今、厚労省で希望大志などでご活躍されている方以外の方達のリアルを知りたいです。
2	アルツハイマー型認知症だけでなく、他の認知症の話題も取り入れてほしいです
3	若年性認知症への取り組み
4	若年性認知症の空白時間
5	若年性認知症
6	廃用症候群。

④法律に関すること

1	行政の取り組みはとてもよくわかりました。病院として認知症患者に対しての進めていくべき取り組みの助言をいただきたい
2	成年後見人に関する民法改正があるとお聞きしました。そのことについて取り上げていただきたいです。
3	新しい認知症観に向けてステイグマを乗り越えていくには
4	認知症基本法の基本と現在の実態
5	認知症基本法

1	備えの進化について。医療的なところだけではなく、介護からの視点、生活における工夫が伝わることもあった。
2	その年その年の話題になっていることをお聞かせいただければ幸いです。
3	予防、治療、ケアを満遍なく取り上げていただきたい
4	どのようなものでも。最新情報や先進事例など
5	認知症の資格制度、キャリアについて役割など
6	認知症の最新動向
7	最新情報

3.当事者の声

①認知症の当事者

1	実際に認知症の方のお話を聞けるのはなかなかない機会だと思うので、そういった場面を今後も継続して欲しいと思った
2	当事者がどのようなきっかけで「声が上げられるようになるのか」そのポイントを学ぶことができればと思います
3	パネルディスカッションで藤田さんのお話が聞けるのが毎回楽しみにしています。次回も楽しみにしています。
4	認知症、ご本人以外に家族の方のお話も聞きたい 働く、社会参加するアクティブな方のお話も聞きたい
5	今後も、ご本人参画型でのご意見をはじめ、認知症医療介護の最前線についてご教示ください。
6	当事者だけでなく、今、介護している家族の方の話も聞きたいと思います。
7	医療的なことよりも認知症ご本人の意見などを増やして欲しい
8	もっと認知症の方の生の声を聞かせていただきたい。
9	認知症本人や家族の方の話を聞きたいです。
10	本人さんの診断前から、診断後、そして今
11	当事者の方々のトークが聞きたい
12	認知症本人の話をもっと聞きたい。
13	認知症の生活の工夫
14	認知症当事者の声
15	当事者発信のお話
16	当事者の思い

②看護師・ヘルパー

1	現場の看護師やヘルパーさん達の話も聞いてみたいです。
---	----------------------------

①問題に思っていること

1	医師のレベルアップや意識の進化が急がれると、日々感じています。 やっとの思いで受診につなげてもらっても残念は結果に終わり、途方にくれます。 やはりスタートは適切な医療があってこそ始まり、次のステップにつながると思います。 なんとかよろしく願いいたします。
2	現役世代や子育て世代からみた高齢化の問題に切り込む必要があるように思います。 社会保障の今後と切り離せない段階に来ているように感じます。 現在の医療介護システムを守っていけるのか、前提が変わってきたとき、見える景色はかなり変わるのではないかと感じています
3	今後は、認知症の方がもっと増える中で、生きやすい生活環境の取り組み？認知症のあたりまえの社会？環境？が高齢者とともに必要。若い人にも知ってもらうことの大切なことをテーマにしてほしい。うまくは言えませんがよろしくお願いします。
4	認知症カフェの果たす役割について。カフェは数が多いが主催者でも理解されていないカフェが多くあると感じている。イベントを実施して終わっていたり、開催日時が月1回等が多いため当事者にとって有効なのかと思うことが多いため。
5	介護職の賃金をはやく上げないとたいへんなことになる！いや、もうなってる！！ということを取り上げてほしい。人材育成は人材のベースがよくないとどうにもならんことは明らかだ。というのを高齢者虐待とか絡めてやってほしい
6	介護認定が要支援の状況であっても病院の時とかにはしっかり対応できている。行政として親の介護（認知症）介護認定問わずにして通院する時に自分が付き添える社会にしてほしい。
7	認知症になると証券会社等の手続きができない。これから認知症が増加することを考えると、もう少し規定を改め、見直しをしてもらいたい。
8	苦戦しているデイサービスをはじめ、介護保険サービスの全国の事業者の運営の現状と展望、方向性など広く議論してほしい。
9	孤独・孤立、アルコールの問題との関連。グリーンケア、農福連携などの状況を聞いてみたいです。
10	認知症疑いの方が受診や地域支援といかにつながることができるようにするか
11	介護現場での人手不足とケアの質の低下（介護士の質の低下）への取組
12	今後認知症の方に関われる人をどう増やしていくか
13	認知症とともに生きるまちづくりの地域差について
14	認知症患者の身体拘束最小化
15	虐待に関して。

②運転

1	高齢者と運転免許について
2	運転寿命延伸について
3	認知症と車の運転

③AI

1	A I の導入について
---	-------------

1.改善要望等

1	今日くらいの内容盛り沢山ならAM・PMに分けて1日かけての日程にしてほしい。どれも興味深くて、でもどれも時間が短くて、さーさーっと流していってしまうのがもったいないと思いました。
2	講演資料の中で、一部、HPにアップされていない資料があるようでしたので、そちらも拝見できるようにしていただければと思います。
3	設問とは違いますが、野村先生のご講演資料が手元にないスライドが多かったので、公開していただけないかなと思っております。
4	野村先生の資料で配布されていない資料について、可能であれば共有していただけると幸いです。ご検討ください。
5	可能であれば共通テストと重ならない時期で設定頂けますと、大学（学会）関係者も参加しやすく助かります。
6	認知症ケア専門士としても、単位認定いただけるとのこと、次回も是非参加させていただきたいと思います。
7	オンデマンド配信もお願いします。（当日全てのプログラムを視聴することが難しい場合もあるので）
8	後日配信していただけるとのこと、配慮がありがたいです。
9	内容を深くするためにも1日研修会が良い
10	年1回開催でいいと思います

2.その他感想

1	地域で認知にかかわるイベントはあっても近所すぎてなかなか参加できない。できたらこういう機会に認知症の方々と家族が出掛けられる日帰りツアーを企画してほしい。 認知症の方々が会話できるイベントがあったら家族として行きたいです。
2	認知症ケア専門士単位取得ができる部分についても、今後も継続してほしいです。
3	昨年度からの参加ですが、毎回とても為になっています。ありがとうございます！
4	このような機会を提供して頂いたことに感謝致します。
5	興味深い内容でした。今後も継続してほしい。
6	貴重なお話をありがとうございました
7	この研修を続けてほしい。